

第120図 第53号竪穴建物跡実測図(2)

**炉** 北東壁寄りに位置している。長径124cm、短径84cmの不整楕円形で、深さ4cmの地床炉である。

**炉土層解説**

1 暗褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック・炭化材少量

**ピット** 8か所。P1～P4は径25～34cm、深さ72～82cmで、規模や配置から支柱穴である。土層から、柱痕跡と推測される。P5は、径25cm、深さ34cmで、位置から出入口施設に伴うピットである。P6～P8は、径22～40cm、深さ8～20cmで性格は不明である。

**ピット土層解説 (P1～P6共通)**

1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化材・焼土粒子微量  
 2 暗褐色 ロームブロック少量  
 3 暗褐色 ローム粒子少量  
 4 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量  
 5 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

**ピット土層解説 (P7・P8共通)**

1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量  
 2 暗褐色 ロームブロック中量

**貯蔵穴** 南コーナー部に位置している。長径120cm、短径113cmの楕円形で、深さ33cmである。壁は外傾し、底面は皿状である。

**貯蔵穴土層解説**

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量  
 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

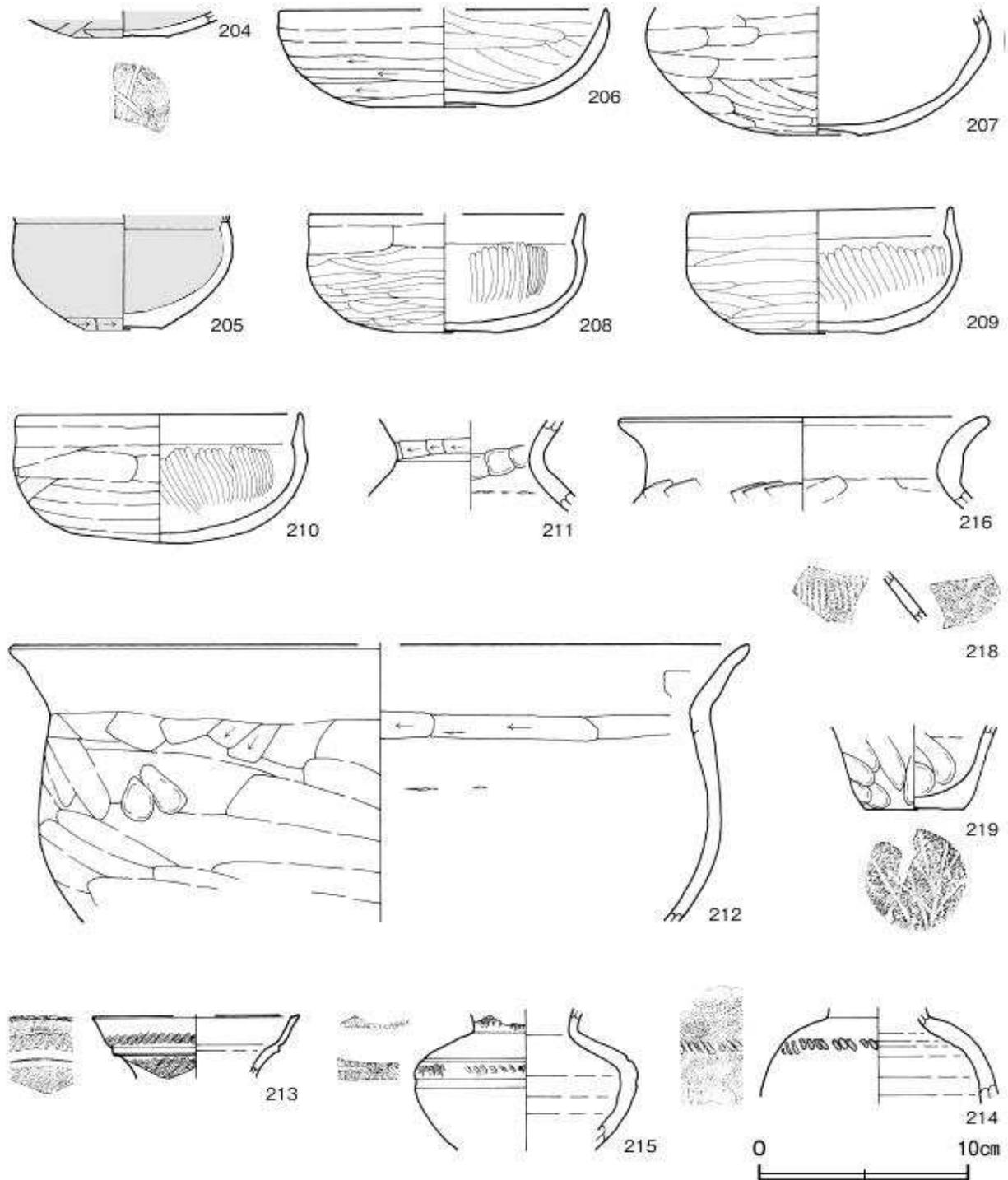
**覆土** 15層に分層できる。第1～3層は自然堆積である。第4～15層は、ロームブロックや炭化材・焼土が多く含まれ、不規則な堆積状況から、埋め戻されている。

**土層解説**

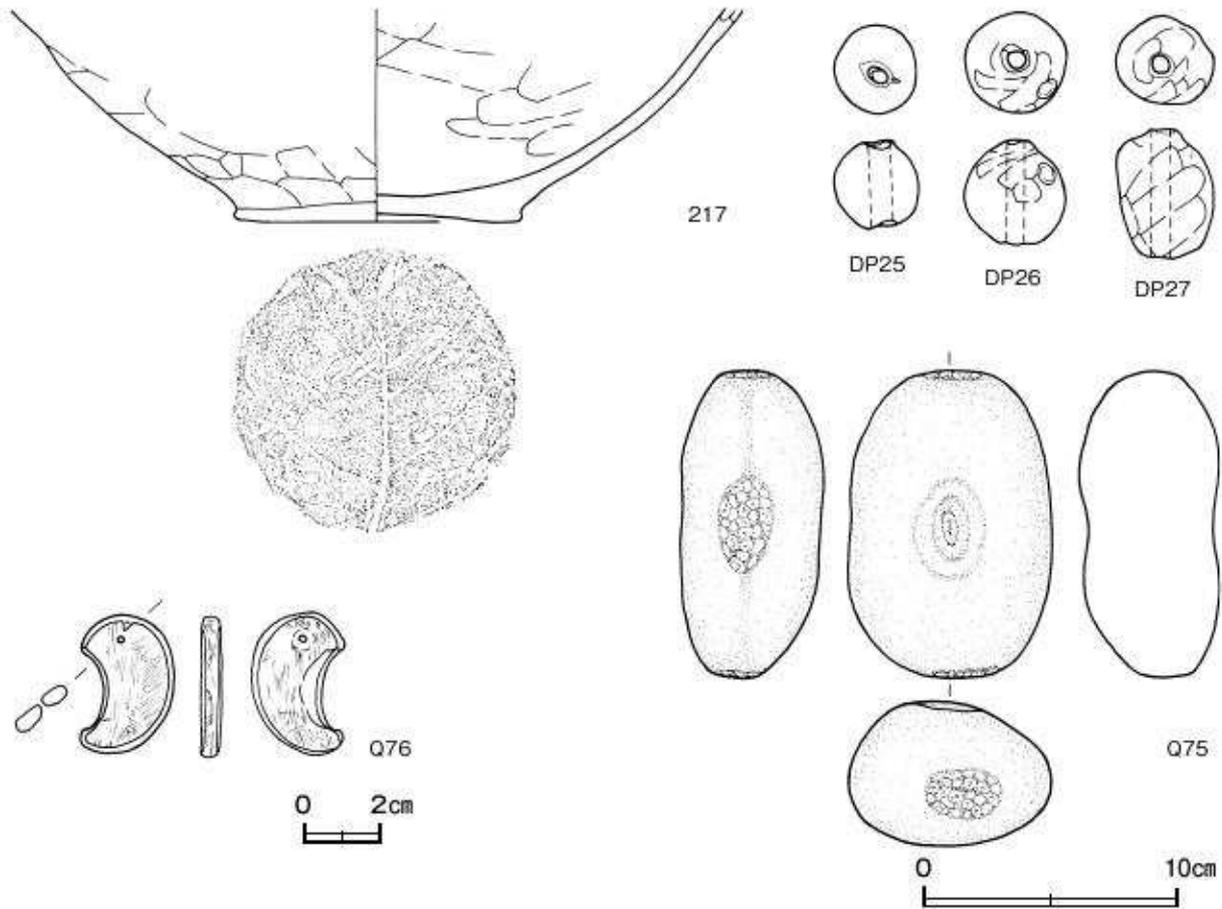
1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量  
 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量  
 3 黒褐色 ローム粒子少量  
 4 黒褐色 ローム粒子少量、炭化物・焼土粒子微量  
 5 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量  
 6 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量  
 7 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量  
 8 黒褐色 ローム粒子中量、炭化物少量  
 9 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量  
 10 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子微量  
 11 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量  
 12 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量  
 13 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量  
 14 暗褐色 ローム粒子少量、炭化材微量  
 15 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子少量

**遺物出土状況** 土師器片 564 点 (坏 115, 埴 1, 鉢 1, 小形壺 1, 甕類 446), 須恵器片 16 点 (坏身 10, 坏蓋 1, 甕 3, 甕 2), 土製品 3 点 (土玉), 石器 1 点 (敲石), 石製品 1 点 (勾玉), 鉄製品 1 点 (不明) のほか, 陶器片 3 点 (碗 2, 甕 1), 石 1 点が, 西側の覆土上層から中層を中心に出土している。207 は, 西壁際の覆土中層から出土している。209・211・216 は西コーナー部の床面から, 217 は覆土下層から, それぞれ出土している。210・212 は, 貯蔵穴内から正位の状態で出土している。DP26・DP27 は, 西コーナー部の焼土中から出土している。Q75 は南西壁際の覆土下層から, Q76 は P 1 西側の床面から, それぞれ出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 5 世紀末葉と考えられる。



第 121 図 第 53 号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)



第 122 図 第 53 号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)

第 53 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 121・122 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
204	土師器	坏	-	(1.2)	[4.5]	長石・石英	明褐色	普通	外面ヘラナデ 底面「×」の線刻	覆土中	5%
205	土師器	坏	-	(5.5)	3.6	長石・石英・ 黒色粒子	橙	普通	外面下部ヘラナデ 内面厚減のため不明 底部ヘラナデ後ヘラ磨き	覆土中	30%
206	土師器	坏	[15.8]	4.7	-	長石・石英・ 赤色粒子	明赤褐色	普通	外面ヘラ磨り後ヘラナデ 内面ヘラ磨き	覆土中	30%
207	土師器	坏	-	(6.1)	3.8	長石・石英・ 細砂	にぶい橙	普通	外面横位のヘラナデ 内面厚減のため不明 底部ヘラナデ	覆土中層	30%
208	土師器	坏	[13.1]	5.7	5.4	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	外面横位のヘラ磨き 内面縦位のヘラ磨き 底部ヘラ磨き	覆土中	40%
209	土師器	坏	12.5	6.1	6.0	長石・石英・ 黒色粒子	明赤褐色	普通	外面横位のヘラ磨き 内面縦位のヘラ磨き 底部ヘラナデ後ヘラ磨き	床面	70% PL30
210	土師器	坏	13.5	6.2	-	長石・石英・ 黒色粒子・赤色粒子	橙	普通	外面横位のヘラナデ 内面縦位のヘラ磨き	貯蔵穴内	70%
211	土師器	埴	-	(4.4)	-	長石・石英・ 赤色粒子	赤褐色	普通	外面ヘラ磨り 内面指頭痕	床面	10%
212	土師器	鉢	[35.4]	(13.4)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部内面横位のヘラ磨り 体部外面ヘラ磨り 後ヘラナデ 一部指頭痕	貯蔵穴内	10%
213	須恵器	甗	[9.8]	(3.0)	-	黒色粒子	灰	良好	口縁部・頸部に縄縞波状文	覆土中	5% 東海産々
214	須恵器	甗	-	(4.7)	-	長石・石英・ 黒色粒子	暗灰黄	良好	口縁部ナデ 肩部に刺突文	覆土中	10% 東海産々
215	須恵器	甗	-	(6.3)	-	長石	灰	良好	口縁部極稀波状文 体部口縁部ナデ後刺突文	覆土中	30% 陶色産々
216	土師器	甗	17.4	(4.5)	-	長石・石英・ 黒色粒子	橙	普通	外面ヘラ磨り 内面ヘラナデ	床面	10%
217	土師器	甗	-	(8.4)	11.4	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	外・内面ヘラナデ 底部木炭痕	覆土下層	40%
218	須恵器	甗	-	(2.5)	-	長石・石英	暗灰黄	良好	外面縦位の平行叩き後カキ目 内面同心円状の 当て具痕	覆土中	5%
219	土師器	小形甗	-	(4.1)	4.8	長石・石英・ 黒色粒子	にぶい黄褐色	普通	外・内面指ナデ 底部木炭痕	覆土中	10%

番号	器種	径	長さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP25	土玉	3.3	3.5	0.5	37.02	長石・石英	明赤褐	全面磨き 一方向からの穿孔	覆土中	PL37
DP26	土玉	4.0	4.1	0.7	60.48	長石・石英	にぶい橙	一部ナデ 指頭痕 一方向からの穿孔	覆土下層	PL37
DP27	土玉	3.5	5.1	0.7	65.82	長石・石英	にぶい黄褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	PL37

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q75	敲石	121	8.0	5.7	847.3	安山岩	両端部・両側縁敲打痕 表裏面中央部凹み	覆土下層	
Q76	勾玉	3.7	2.4	0.5	8.43	滑石	全面研磨加工 一方向からの穿孔 孔径0.18cm	床面	PL39

### 第 54 号竪穴建物跡 (第 123 図 PL21)

**位置** 調査区東部の O12d9 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 北東部のほとんどが調査区域外に延びているため、確認できた南北軸は 3.35m、東西軸は 3.03m しか確認できなかった。壁は高さ 32～46cm で、直立している。

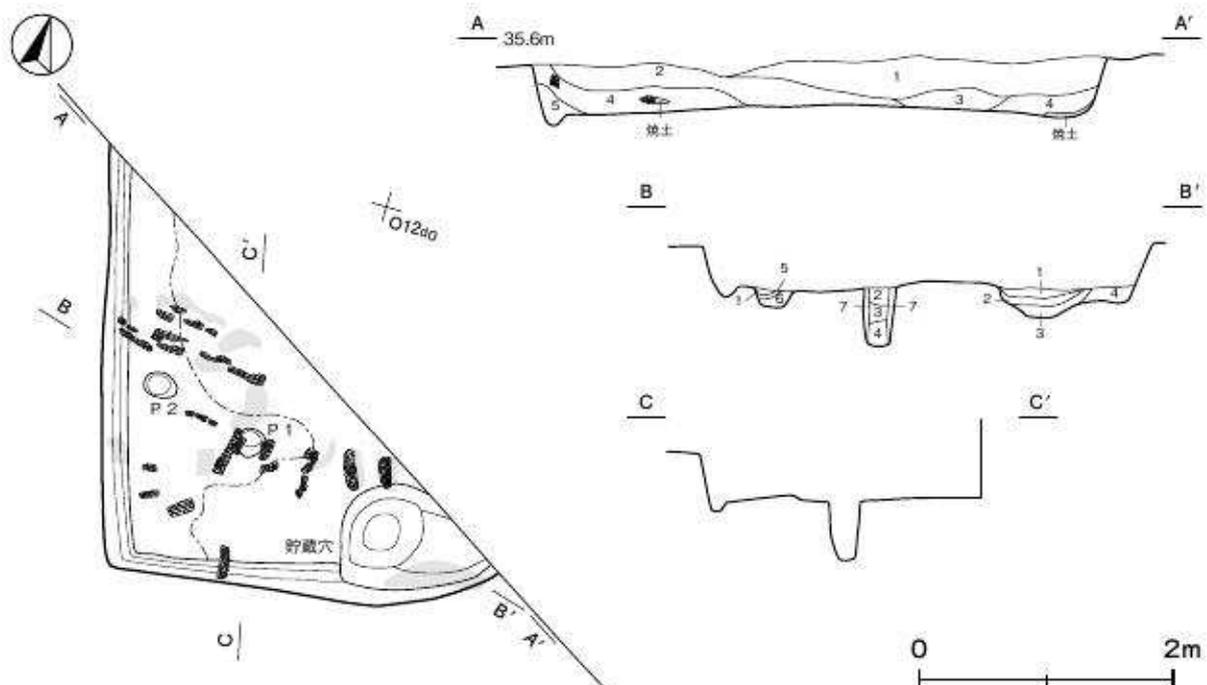
**床** 平坦で、中央部に当たる範囲が踏み固められている。壁下には、幅 15～18cm、深さ 8cm の壁溝が、確認できた範囲で巡っている。

**ピット** 2 か所。P 1 は、径 26cm、深さ 45cm で、規模や配置から支柱穴である。P 2 は、径 20cm、深さ 14cm で、性格は不明である。

#### ピット土層解説

- |        |                  |      |         |
|--------|------------------|------|---------|
| 1 黒褐色  | ローム粒子少量          | 5 褐色 | ローム粒子多量 |
| 2 極暗褐色 | 炭化粒子中量、ローム粒子少量   | 6 褐色 | ローム粒子少量 |
| 3 暗褐色  | ロームブロック・炭化粒子少量   | 7 褐色 | ローム粒子中量 |
| 4 暗褐色  | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |      |         |

**貯蔵穴** 南壁際に位置している。長径 98cm、短径 90cm の円形で、深さ 21cm である。壁は外傾しており、床面は凹凸している。



第 123 図 第 54 号竪穴建物跡実測図

貯蔵穴土層解説

- |       |         |       |           |
|-------|---------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子少量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 褐色  | ローム粒子中量 | 4 暗褐色 | ロームブロック中量 |

覆土 5層に分層できる。ロームブロックや炭化物、焼土が多く含まれていることから、埋め戻されている。

土層解説

- |       |                        |        |                      |
|-------|------------------------|--------|----------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化物少量、焼土粒子微量 | 4 黒褐色  | ロームブロック・焼土ブロック・炭化物中量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子中量、焼土粒子微量    | 5 極暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量  |
| 3 褐色  | ロームブロック中量、炭化物微量        |        |                      |

遺物出土状況 土師器片 14 点（坏 2、甕類 12）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

所見 時期は、出土土器から 5 世紀後葉～末葉と考えられる。床面から、焼土や炭化材が出土していることから、焼失建物である。

第 55 号竪穴建物跡（第 124・125 図）

位置 調査区西部の Q10e7 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 西部のほとんどが調査区域外に延びているため、南北軸は 3.00m、東西軸は 1.87m しか確認できなかった。壁は高さ 34～47cm で、直立している。

床 平坦である。

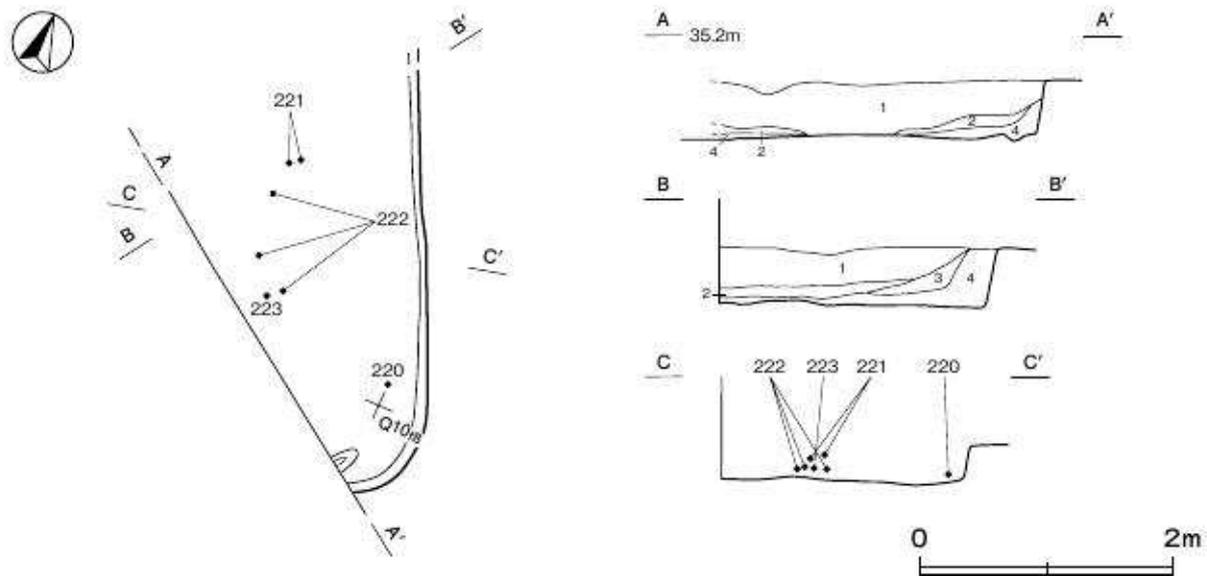
覆土 4層に分層できる。レンズ状の堆積であることから、自然堆積である。

土層解説

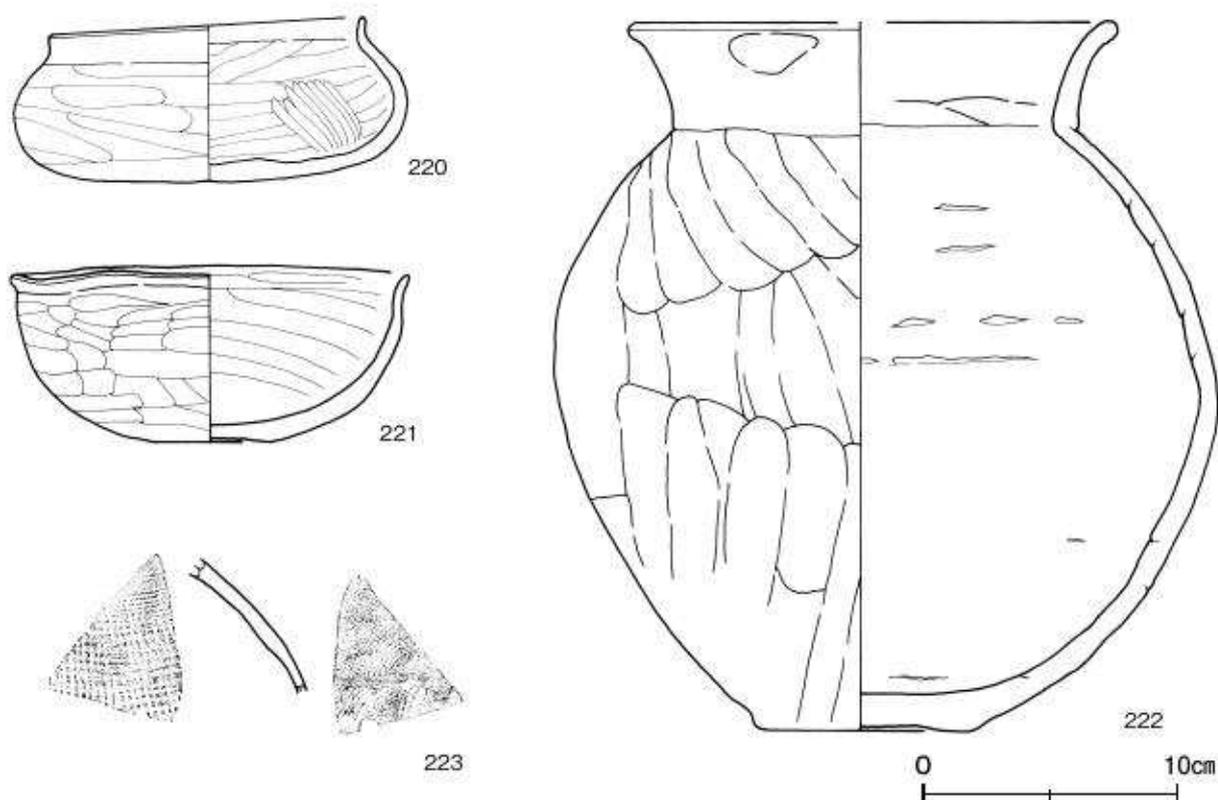
- |       |                |       |                     |
|-------|----------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子微量 | 3 黒褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子少量   | 4 褐色  | ローム粒子中量、炭化粒子少量      |

遺物出土状況 土師器片 14 点（坏 4、碗 2、甕類 8）、須恵器片 1 点（甕）、石器 1 点（軽石）が出土している。220・222・223 は、すべて覆土下層から出土している。

所見 時期は、出土土器から 5 世紀末葉と考えられる。床面から焼土や炭化材が出土していることから、焼失建物である。



第 124 図 第 55 号竪穴建物跡実測図



第 125 図 第 55 号堅穴建物跡出土遺物実測図

第 55 号堅穴建物跡出土遺物観察表 (第 125 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
220	土師器	椀	12.4	6.4	-	長石・石英・赤色粒子・細織	にぶい黄橙	普通	外・内面へラ磨き	覆土下層	100% PL31
221	土師器	椀	15.5	7.0	4.7	長石・石英・赤色粒子・黒色粒子	明赤褐	普通	外・内面へラ磨き 底部へラナデ	覆土中層	95% PL31
222	土師器	甕	[18.7]	28.1	8.9	長石・石英・雲母	橙	普通	外面縦位のへラナデ 内面摩滅のため不明 底部へラ削り後へラナデ	覆土下層	70%
223	須恵器	甕	-	(5.4)	-	長石・石英	灰黄	良好	外面縦位の平行叩き後カキ目 内面同心円状の当て具痕	覆土下層	5%

表 2 古墳時代堅穴建物跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模		壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長軸×短軸 (m)	(cm)				柱穴	出入口	ピット	伊・壺	貯蔵穴				
1	N10d7	N-46°-W	方形	4.89 × 4.82	25 ~ 45	平坦	全周	4	1	2	伊	2	自然・人為	土師器、石器	5世紀後半		
2	O12a1	N-4°-E	方形	3.52 × 3.36	15 ~ 28	平坦	-	-	-	-	伊	-	人為	土師器	5世紀末葉 - 6世紀初葉	本跡→SK26	
3	O12b1	N-10°-E	方形	7.46 × 7.46	42 ~ 50	平坦	ほぼ全周	4	1	2	伊2	1	自然・人為	土師器、須恵器、石器	5世紀末葉 - 6世紀初葉	本跡→SK317 - 319 - 321 - 414 - 415 - 470 - 473	
4	O11b7	N-10°-E	方形	5.48 × 5.48	32 ~ 40	平坦	ほぼ全周	4	-	-	伊	-	人為	土師器、石製品	5世紀末葉 - 6世紀初葉	本跡→SK 1・11	
5	N11b5	N-7°-E	方形	8.30 × 7.60	40 ~ 74	平坦	全周	4	-	6	伊	1	人為	土師器、須恵器、石製品、鉄製品	5世紀後半	SK21 - 23 → 本跡	
6	O11a1	N-47°-W	方形	5.53 × [5.34]	56 ~ 58	平坦	一部	4	-	-	伊	1	人為	土師器、須恵器、石製品	5世紀後半 - 末葉		
7	O11c5	[N-30°-W]	[方形]	4.06 × (3.80)	10 ~ 28	平坦	-	-	-	3	-	-	-	土師器、須恵器、石製品	5世紀末葉 - 末葉	SK41 → 本跡	
8	O11e9	N-5°-W	方形	5.44 × 5.26	9 ~ 17	平坦	-	4	1	4	伊2	-	自然	土師器、須恵器、石器	5世紀末葉	本跡→SK291・314	
9	N10g9	N-110°-W	長方形	5.58 × 3.98	8 ~ 16	平坦	-	-	-	2	伊	1	人為	土師器、石器	5世紀末葉	本跡→SD 2	
10	N10c6	N-2°-E	[方形]	(5.87 × 3.35)	20 ~ 38	平坦	(全周)	1	-	1	-	1	人為	土師器、須恵器	5世紀後半 - 末葉		
11	N10j8	N-18°-E	[方形]	5.50 × (4.80)	42 ~ 50	平坦	[ほぼ全周]	4	-	2	伊	1	人為	土師器、須恵器	5世紀後半		
12	O10d8	N-30°-W	[方形]	6.40 × (5.20)	10 ~ 24	ほぼ平坦	一部	-	-	6	伊3	-	人為	土師器、須恵器	5世紀後半 - 末葉	本跡→SK188	

番号	位置	主軸方向	平面形	規模	高さ (cm)	床面	壁溝	内部施設						覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長軸×短軸(m)				土坑穴	出入口	土上	伊	遺	貯蔵穴				
13	O109	N-14°-W	方形	5.00 × 4.90	12-16	ほぼ平坦	-	4	-	-	伊	-	-	土師器、土製品	5世紀後半-未業		
14	O114	N-15°-E	方形	[8.20] × 7.58	8-10	平坦	-	2	-	2	-	-	-	土師器	5世紀後半-未業		
15	O105	N-0°	方形	5.92 × 5.70	38-42	平坦	[全周]	4	-	-	伊	-	人為	土師器、須恵器、土製品、石器、石製品	5世紀末業		
16	O10e3	N-18°-W	[方形-長方形]	(2.65 × 1.70)	4-9	平坦	-	-	-	-	-	-	-	土師器	5世紀後半-未業		
17	O10e2	N-6°-W	長方形	4.11 × 3.70	-	平坦	-	-	-	-	伊	-	-	土師器、須恵器	5世紀後半-未業		
18	O9e9	N-22°-W	[方形]	[5.60 × 5.24]	43-47	平坦	[全周]	3	1	4	伊	-	人為	土師器、鉄製品、須恵器、石器	5世紀末業		
19	O9b0	N-27°-W	方形	4.45 × 4.38	40	平坦	一部	4	1	-	伊	-	人為	土師器	5世紀後半		
20	O9b6	[N-10°-W]	方形	[7.30] × 7.26	34-46	平坦	[全周]	4	1	-	-	1	-	土師器、須恵器、石器、鉄製品	5世紀後半-未業		
21	P9b5	N-10°-W	長方形	6.97 × 6.00	47-66	平坦	全周	4	1	3	伊2	1	人為	土師器、石器、石製品	5世紀末業		
22	P9b8	N-1°-W	方形	4.90 × 4.82	46-50	平坦	全周	4	-	2	伊	-	人為	土師器、須恵器、土製品、石器	5世紀末業	本跡→SD 4・5	
23	P10a7	N-4°-E	方形	4.85 × 4.82	43-60	平坦	[全周]	4	-	-	伊2	1	人為	土師器、石器、炭化米	5世紀後半	本跡→SD 4、SK98・103・105・117、SK92 新旧不明	
24	P11e2	N-6°-E	方形	6.13 × 6.04	38-50	平坦	全周	4	-	-	伊	1	人為	土師器、土製品、石器	5世紀後半	本跡→SK242・275	
25	P10g9	N-176°-E	長方形	3.52 × 2.44	6-10	平坦	-	-	-	-	伊	-	人為	土師器	5世紀後半-未業	本跡→SK153・155	
26	P9f5	N-10°-E	方形	[6.85] × 6.85	68-78	平坦	[全周]	4	-	2	伊	1	自然・人為	土師器、須恵器、石器、石製品	5世紀後半	本跡→SD 3A・3B	
27	P9h0	N-41°-W	方形	6.64 × 6.36	54-74	平坦	[ほぼ全周]	4	-	-	伊	1	自然・人為	土師器、須恵器、石器	5世紀末業-6世紀初頭	SI28 → 本跡 → SK221	
28	P10h2	N-13°-W	[方形]	[4.4] × (2.10)	30-35	平坦	-	-	-	-	伊2	-	人為	土師器	5世紀後半-未業	本跡→SI27、SK221・232	
29	P105	N-23°-W	方形	7.73 × 7.64	58-60	平坦	全周	4	1	11	伊2	1	人為	土師器、須恵器、土製品、石器、ガラス製品、炭化米	5世紀後半	本跡→SD10、SK100・222・223、SK234・237・239 新旧不明	
30	P9f0	N-65°-E	[長方形]	(3.26) × 2.73	14-18	平坦	-	-	-	5	-	-	人為	土師器、須恵器	5世紀後半-未業	本跡→SK230	
31	Q115	N-2°-W	方形	5.72 × 5.60	46-48	平坦	[ほぼ全周]	4	1	1	伊2	1	自然・人為	土師器、須恵器、土製品	5世紀末業		
32	Q127	N-45°-W	方形	5.32 × 5.28	43-47	平坦	全周	4	1	-	伊	1	人為	土師器、須恵器、土製品、炭化種子	5世紀後半		
33	R124	N-17°-W	[方形-長方形]	(5.12 × 3.13)	53	平坦	[全周]	-	-	1	伊	-	人為	土師器、石器	5世紀後半-未業		
34A	Q128	N-41°-W	[方形-長方形]	6.55 × (4.38)	38-45	平坦	一部	1	-	2	-	-	人為	土師器、須恵器	5世紀末業	本跡→SI34B	
34B	Q128	N-40°-W	[長方形]	(3.23) × 2.90	47-63	平坦	-	2	-	-	伊	-	人為	土師器、須恵器	5世紀末業-6世紀初頭	SI34A → 本跡	
35	P11e0	N-5°-E	方形	6.33 × 5.97	22-35	平坦	-	4	1	-	伊2	1	-	土師器、土製品	5世紀後半-未業		
36	P12e6	N-27°-W	方形	5.30 × 5.24	40-44	平坦	全周	4	1	5	伊	1	人為	土師器、土製品、鉄製品	5世紀後半		
37	O136	N-36°-W	方形	6.13 × 6.06	28-38	平坦	全周	4	1	-	伊2	1	自然	土師器、土製品	5世紀後半-未業	本跡→SK243・244・259・274	
38	O129	N-9°-W	方形	5.85 × 5.35	50-56	平坦	[ほぼ全周]	4	1	-	伊3	-	自然・人為	土師器、須恵器、石器	5世紀後半-未業		
39	O13g1	N-3°-W	[方形]	5.73 × [3.73]	2-10	平坦	一部	2	-	-	伊2	-	-	土師器	5世紀後半-未業	本跡→SK256・258	
40	O1248	N-8°-W	[方形]	4.20 × (4.04)	3	やや凹凸	一部	-	-	-	伊	-	-	土師器	5世紀後半-未業	本跡→SK285	
41	R12c3	N-19°-W	長方形	4.28 × (3.68)	4-10	平坦	-	2	-	-	伊	-	人為	土師器、石器	5世紀末業	本跡→SK370	
42	P13a9	N-36°-W	[方形]	4.45 × (3.67)	54-60	平坦	[全周]	3	-	-	伊	1	人為	土師器	5世紀末業	本跡→SK260・263	
43	Q113	N-16°-W	方形	3.32 × (3.08)	6-12	平坦	-	-	-	2	-	-	-	土師器、須恵器	5世紀後半	本跡→SI52	
44	Q11g1	N-10°-W	方形	4.26 × 4.24	29-35	平坦	[ほぼ全周]	4	-	2	伊	-	人為	土師器、鉄製品	5世紀後半-未業	本跡→SD 4	
45	Q10e0	N-2°-W	方形	3.96 × 3.70	19-26	平坦	-	4	-	-	-	-	自然・人為	土師器、石器、石製品	5世紀後半-未業	本跡→SD 4、SK380	
46	P11j1	N-4°-W	方形	5.06 × 4.73	54-62	平坦	全周	4	1	1	伊2	1	自然・人為	土師器、須恵器、土製品、石器、石製品、鉄製品	5世紀末業-6世紀初頭		
47	O125	N-38°-W	方形	7.02 × 6.94	25-43	平坦	一部	4	1	4	伊	-	人為	土師器、須恵器、土製品、炭化米、石器、石製品	5世紀末業	SK356 → 本跡 → SK341・343	
49	P11e5	N-6°-E	長方形	3.69 × 2.80	9-13	平坦	-	-	-	-	伊	-	人為	土師器、須恵器	5世紀後半-未業	本跡→SK474	
50	O1246	N-3°-W	方形	4.39 × 4.37	20-42	やや凹凸	[全周]	3	1	-	伊	-	人為	土師器、須恵器、炭化種子	5世紀後半-未業	本跡→SK248・280・281	
51	P11a5	N-94°-E	方形	4.07 × 3.86	22-35	平坦	-	4	1	1	東壁	1	人為	土師器	5世紀末業-6世紀初頭	本跡→SK308・309	
52	Q11g3	N-23°-W	方形	6.22 × 6.16	24-37	平坦	[ほぼ全周]	4	1	2	北壁	1	人為	土師器、土製品、石器、炭化米	5世紀末業-6世紀初頭	SI43 → 本跡 → SK298・299・367	
53	O11g9	N-65°-E	方形	6.54 × 6.10	50-86	平坦	全周	4	1	3	伊	1	自然・人為	土師器、須恵器、土製品、石器、石製品	5世紀末業	SK391 新旧不明	
54	O1249	-	[方形-長方形]	(3.35 × 3.03)	32-46	平坦	[全周]	1	-	1	-	1	人為	土師器	5世紀後半-未業		
55	Q10e7	-	[方形-長方形]	(3.00 × 1.87)	34-47	平坦	-	-	-	-	-	-	自然	土師器、須恵器、石器	5世紀末業		

## 2 平安時代の遺構と遺物

今回の調査では、火葬墓3基を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

### 火葬墓

#### 第1号火葬墓（第126図 PL21）

**位置** 調査区西部のP10j7区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 径0.36mほどの円形である。深さは20cmで、底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

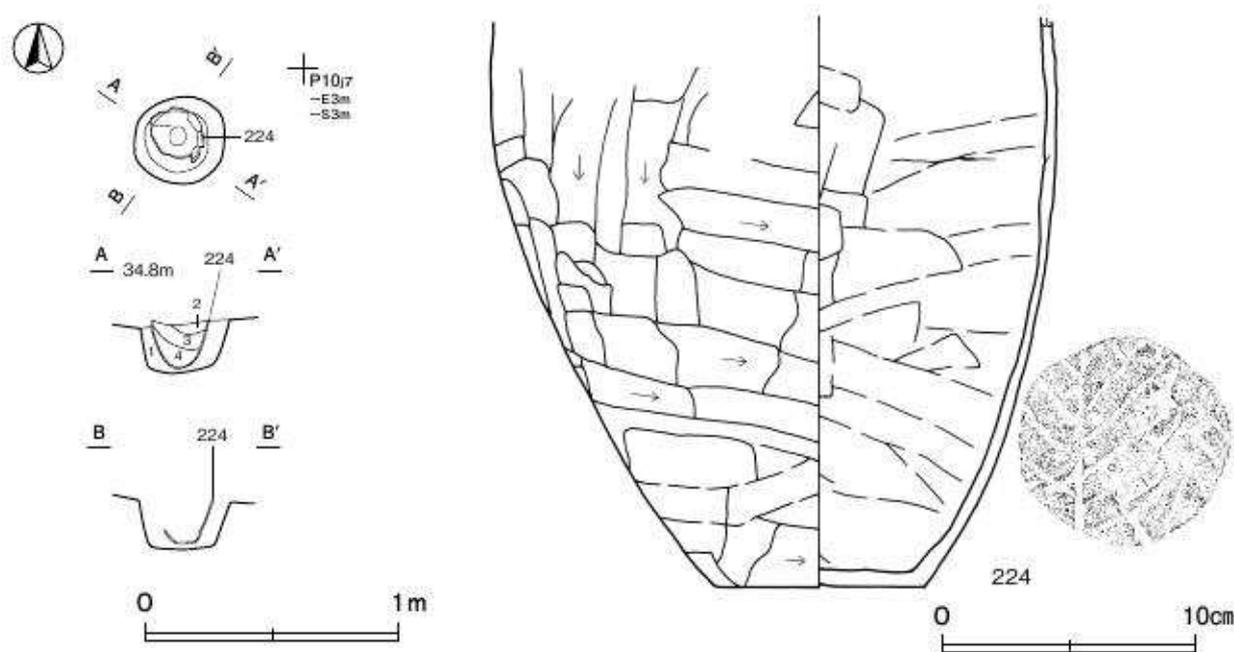
**覆土** 4層に分層できる。第1層は、ロームブロックが多く含まれていることから、土器を埋設する際の埋土である。第2～4層は、土器内の堆積土である。

#### 土層解説

- |       |                  |       |                         |
|-------|------------------|-------|-------------------------|
| 1 褐色  | ロームブロック中量、炭化粒子少量 | 3 黒褐色 | 炭化物・骨片中量、焼土粒子少量、ローム粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量、骨粉微量     | 4 黒褐色 | 骨粉多量、炭化粒子中量、ローム粒子微量     |

**遺物出土状況** 土師器片1点(甕)、骨(人骨)が出土している。224は、中央部に正位で置かれた状態で出土している。内部には、火葬された頭蓋骨や四肢骨などが遺存していた。

**所見** 甕骨器を埋納した火葬墓である。時期は、出土土器から9世紀末葉と考えられる。火葬骨は、鑑定結果(詳細は付章を参照)から壮年(20～39歳程度)よりも若い可能性が示されている。



第126図 第1号火葬墓・出土遺物実測図

#### 第1号火葬墓出土遺物観察表（第126図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
224	土師器	甕	-	(22.6)	8.4	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面ヘラ削り後一部ヘラナデ 内面ヘラナデ 底部木炭痕	覆土下層	60%

#### 第2号火葬墓（第127図）

**位置** 調査区西部のP9h9区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径1.24m、短径1.05mの楕円形で、長径方向はN-20°-Eである。深さは22cmで、底面は平坦で、

壁は緩斜している。

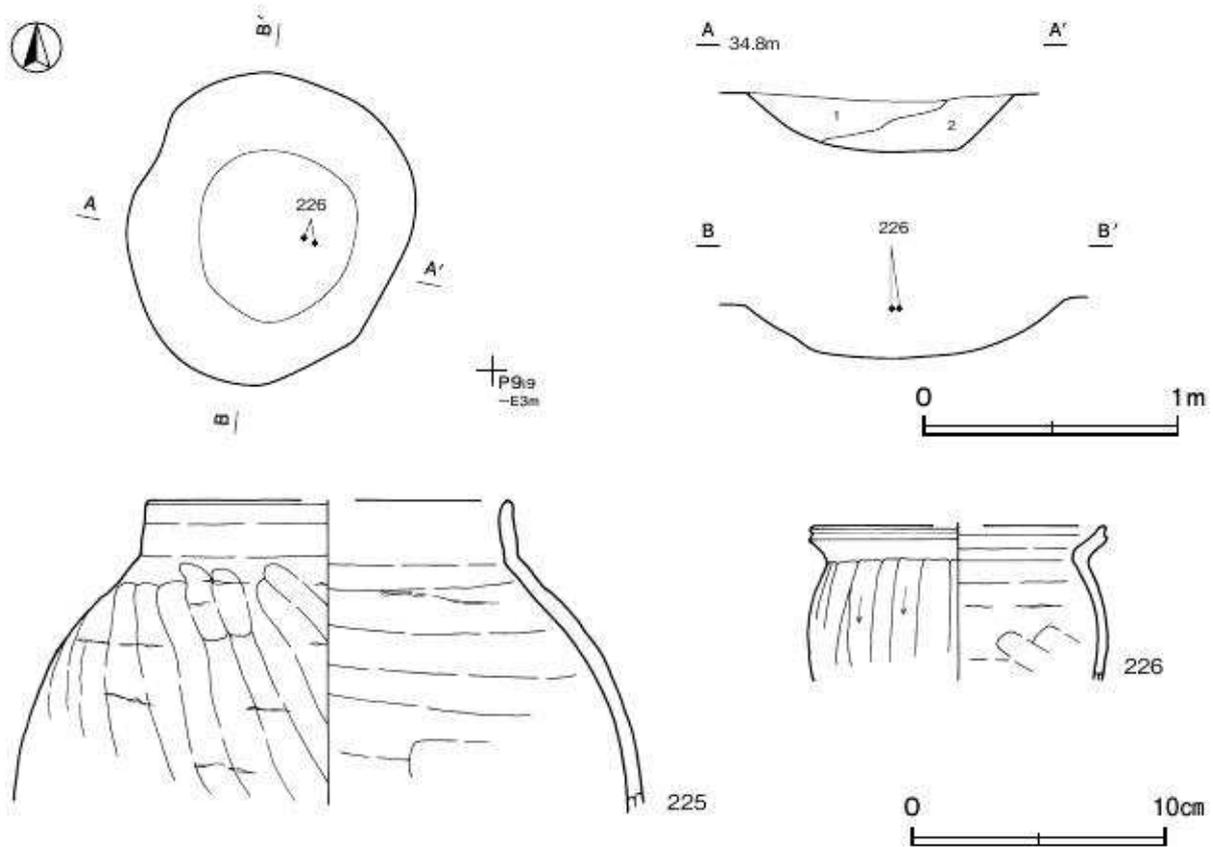
**覆土** 2層に分層できる。蔵骨器や骨が含まれていることから、埋土である。

**土層解説**

1 暗褐色 炭化物少量、ロームブロック・焼土粒子微量      2 暗褐色 ローム粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片 19点 (坏6, 甕12, 小形甕1), 骨が出土している。226は覆土上層から出土している。

**所見** 蔵骨器を埋納した火葬墓である。時期は、出土土器から9世紀後半と考えられる。



第127図 第2号火葬墓・出土遺物実測図

第2号火葬墓出土遺物観察表 (第127図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
225	土師器	甕	[14.4]	(119)	—	長石・石英・赤色粒子・細礫	橙	普通	口縁部横位のヘラナデ 体部外・内面ヘラナデ	覆土中	20%
226	土師器	小形甕	[11.4]	(61)	—	長石・石英・赤色粒子・細礫	明視	普通	体部外面縦位のヘラ刮り 内面横位のヘラナデ	覆土上層	10%

**第3号火葬墓 (第128図)**

**位置** 調査区西部のQ10b2区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径0.88m, 短径0.79mの楕円形で、長径方向はN-27°-Eである。深さは21cmで、底面は平坦で、壁は緩斜している。

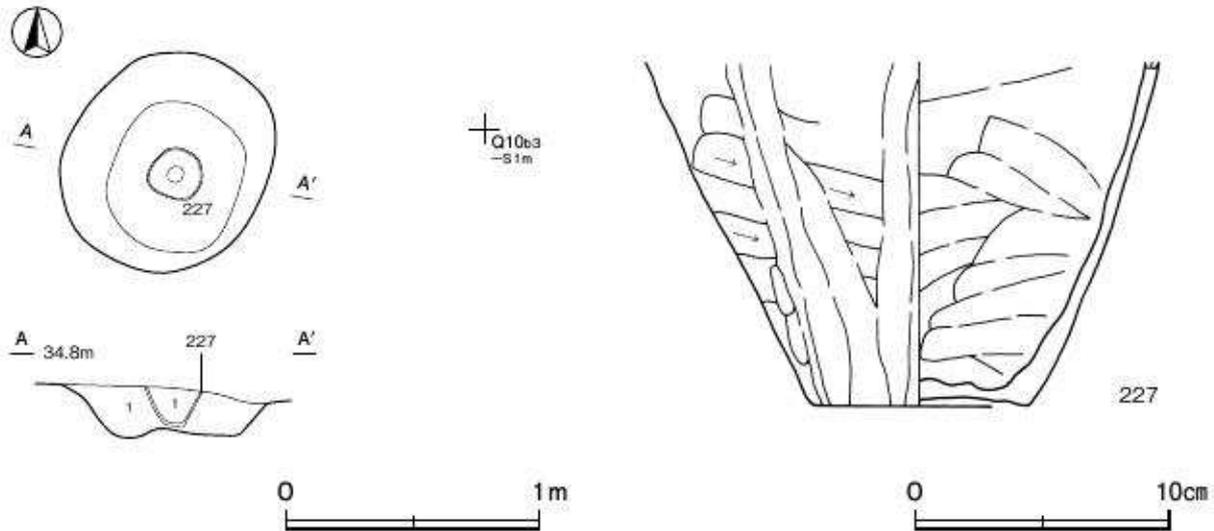
**覆土** 単一層である。堆積状況から、埋土である。

**土層解説**

1 褐色 ローム粒子中量

**遺物出土状況** 土師器片 22 点（甕）、骨（人骨）が出土している。227 は、遺構中央部に正位で置かれた状態で出土している。内部には、火葬された頭蓋骨や四肢骨などが遺存していた。

**所見** 蔵骨器を埋納した火葬墓である。時期は、出土土器から 9 世紀末葉と考えられる。火葬骨は、鑑定結果（詳細は付章を参照）から壮年（20～39 歳程度）よりも若い可能性が示されている。



第 128 図 第 3 号火葬墓・出土遺物実測図

第 3 号火葬墓出土遺物観察表（第 128 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
227	土師器	甕	-	(13.6)	8.6	長石・石英・赤色粘土・磁織	にぶい橙	普通	外面ヘラ削り後縦位のヘラナデ 内面ヘラナデ	底面	50% PL34

表 3 平安時代火葬墓一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	縦 横		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
1	P107	-	円形	0.36 × 0.35	20	直立	平坦	人為	土師器、人骨	
2	P9b9	N-20°-E	楕円形	1.24 × 1.05	22	縦斜	平坦	人為	土師器、骨	
3	Q10b2	N-27°-E	楕円形	0.88 × 0.79	21	縦斜	平坦	人為	土師器、人骨	

### 3 その他の遺構と遺物

今回の調査では、時期や性格が明確でない堅穴建物跡 2 棟、有段土坑 29 基、長方形土坑 84 基、土坑 332 基、溝跡 11 条、炉跡 4 基を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

#### (1) 堅穴建物跡

今回の調査で、時期や性格が不明な堅穴建物跡 2 棟を確認した。以下、実測図（第 129・130 図）及び一覧表を掲載する。

**第 48 号 竪穴建物跡 (第 129 図)**

**位置** 調査区南西部の Q11i3 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 東部が削平され、南西コーナー部が調査区域外に延びているが、南北軸 2.76m、東西軸 2.07m の長方形と推測される。主軸方向は N - 15° - W である。壁は高さ 2 ~ 4 cm で、緩やかに傾斜している。

**床** 平坦である。

**炉** 中央部に位置している。長径 60cm、短径 50cm の楕円形で、深さ 6 cm の地床炉である。

**炉土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子微量      2 暗褐色 ロームブロック少量

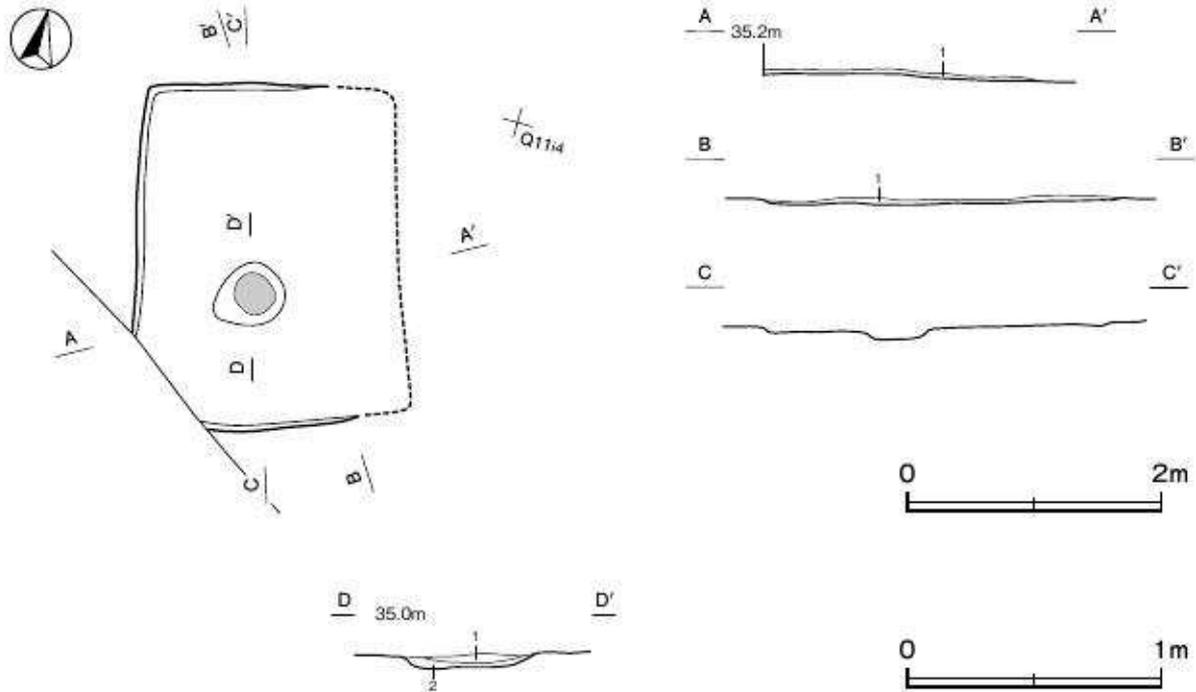
**覆土** 単一層である。覆土が薄いため、堆積状況は不明である。

**土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量

**遺物出土状況** 土師器片 23 点 (甕類) が出土している。すべて覆土中からの出土である。

**所見** 遺物がすべて小片のため、時期不明である。



第 129 図 第 48 号 竪穴建物跡実測図

**第 56 号 竪穴建物跡 (第 130 図)**

**位置** 調査区中央部の P10c1 区、標高 34.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

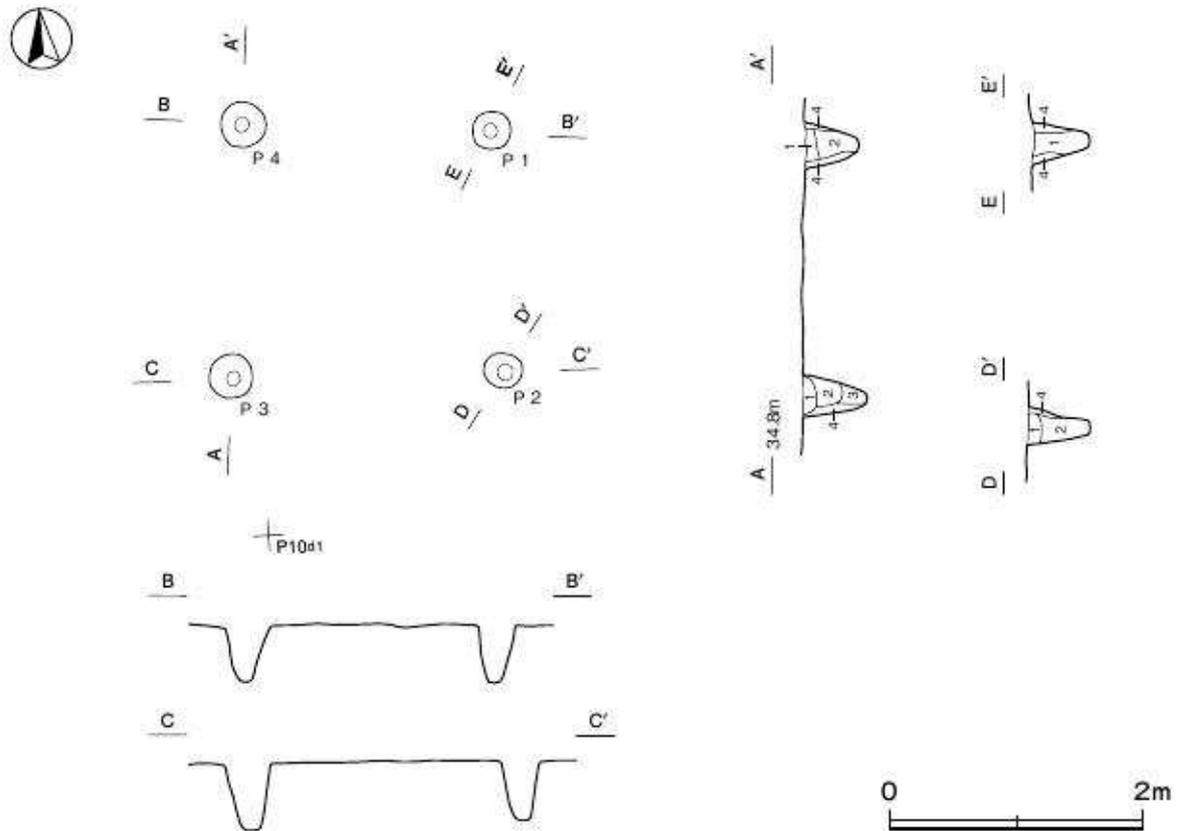
**規模と形状** 削平のため壁が確認できず、ピットのみが確認できた。ピット間はそれぞれ約 2.30m である。ピットの位置から、一辺 4 m ほどの方形あるいは長方形と推測される。

**ピット** 4 か所。P 1 ~ P 4 は径 28 ~ 36cm、深さ 44 ~ 52cm で、規模や配置から支柱穴である。

**ピット土層解説 (全ピット共通)**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量      3 黒褐色 ロームブロック中量  
2 黒褐色 ローム粒子中量      4 暗褐色 ローム粒子多量

所見 主柱穴と考えられるピットのみの確認で、竪穴建物跡とするには躊躇する部分もある。ほかの竪穴建物跡の主柱穴の深さと同様の規模を呈していることから、竪穴建物跡とした。



第130図 第56号竪穴建物跡実測図

表4 その他の竪穴建物跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長軸×短軸 (m)				主柱穴	出入口	ピット	伊・甕	貯蔵穴				
48	Q11i3	N-15°-W	[長方形]	276 × 207	2~4	平坦	-	-	-	-	伊	-	-	土師器		
56	P10c1	-	[方形・長方形]	245 × 233	-	平坦	-	4	-	-	-	-	-			

## (2) 有段土坑

今回の調査で、時期や性格が不明な有段土坑29基を確認した。以下、実測図（第131～159図）及び一覧表を掲載する。

### 第38号土坑（第131図 PL22）

位置 調査区北部のN10i7区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

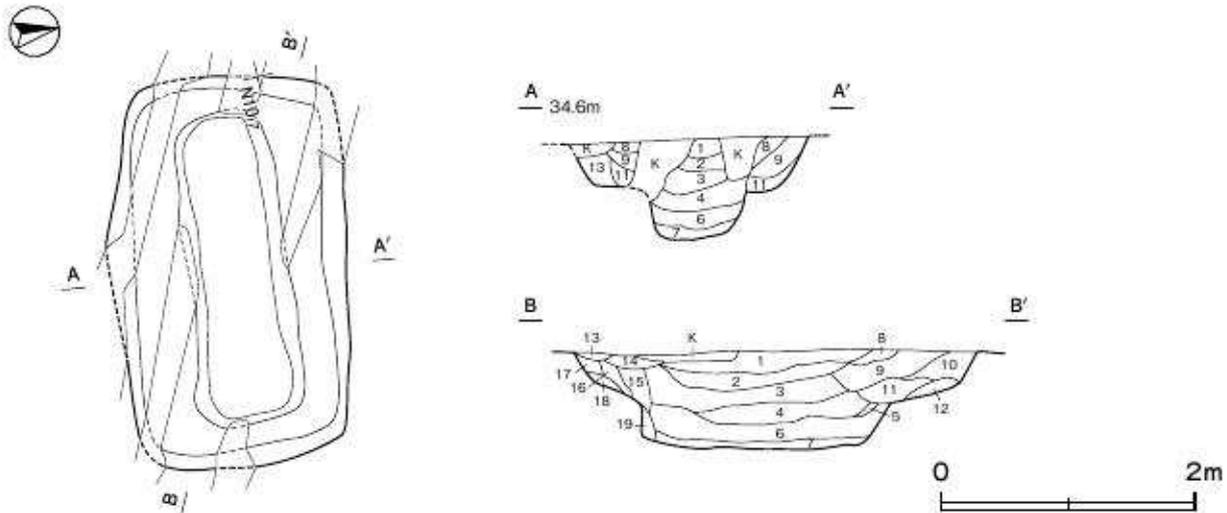
規模と形状 確認面は、長軸3.08m、短軸1.90mの長方形で、約40cm掘り下げられた中段から長軸2.49m、短軸0.83mの隅丸長方形、深さ35cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-80°-Wである。壁は上段が外傾し、下段はほぼ直立している。底面はほぼ平坦である。

**覆土** 19層に分層できる。第15～19層と第9～12層は、ブロック状に堆積しており、第1～7層はレンズ状に堆積している。堆積状況から、第15～19層が先に構築され、後に第1～7層、その後に第9～12層が埋め戻されている。第16・17層は締まりが弱いため、上部の層とは性格が違うと考えられる。

**土層解説**

1 黒褐色	ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量	11 暗褐色	ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
2 黒褐色	ローム粒子少量、炭化物・焼土粒子微量	12 黒褐色	ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
3 暗褐色	ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量	13 褐色	ロームブロック多量
4 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量	14 暗褐色	ローム粒子中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量
5 黒褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量	15 暗褐色	ロームブロック多量、焼土粒子・炭化粒子微量
6 暗褐色	ロームブロック中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量	16 暗褐色	ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
7 暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量	17 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
8 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量	18 黒褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
9 暗褐色	ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量	19 暗褐色	ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
10 褐色	ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量		

**遺物出土状況** 土師器片10点(甕)、須恵器片2点(甕)が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。  
**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。遺構の形状から、墓坑として利用されたと考えられる。



第131図 第38号土坑実測図

**第58号土坑 (第132図 PL22)**

**位置** 調査区西部のO10i2区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第17号土坑に掘り込まれている。

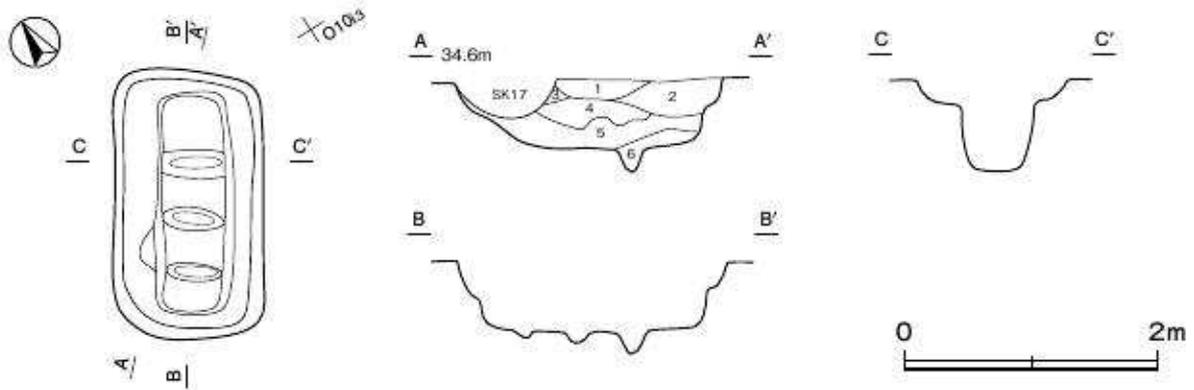
**規模と形状** 確認面は、長軸2.16m、短軸1.18mの長方形で、約20cm掘り下げられた中段から長軸1.75m、短軸0.61mの長方形、深さ40cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-32°-Eである。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面は凹凸しており、短軸に対して平行に3条の溝状の掘り込みがある。

**覆土** 6層に分層できる。ロームブロックや炭化物、焼土が多く含まれていること、ブロック状に堆積していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

1 暗褐色	ローム粒子多量、炭化粒子微量	4 暗褐色	ロームブロック多量、炭化粒子微量
2 暗褐色	ロームブロック少量	5 暗褐色	ロームブロック多量
3 暗褐色	ロームブロック少量、炭化物微量	6 暗褐色	ロームブロック中量

**所見** 底面の3条の溝は、形状から排水施設の可能性がある。



第132図 第58号土坑実測図

第94号土坑 (第133図 PL22)

**位置** 調査区西部のP10c3区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.66m、短軸1.70mの長方形で、約30cm掘り下げられた中段から長軸2.16m、短軸0.75mの長方形、深さ50cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-38°-Eである。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面は平坦である。

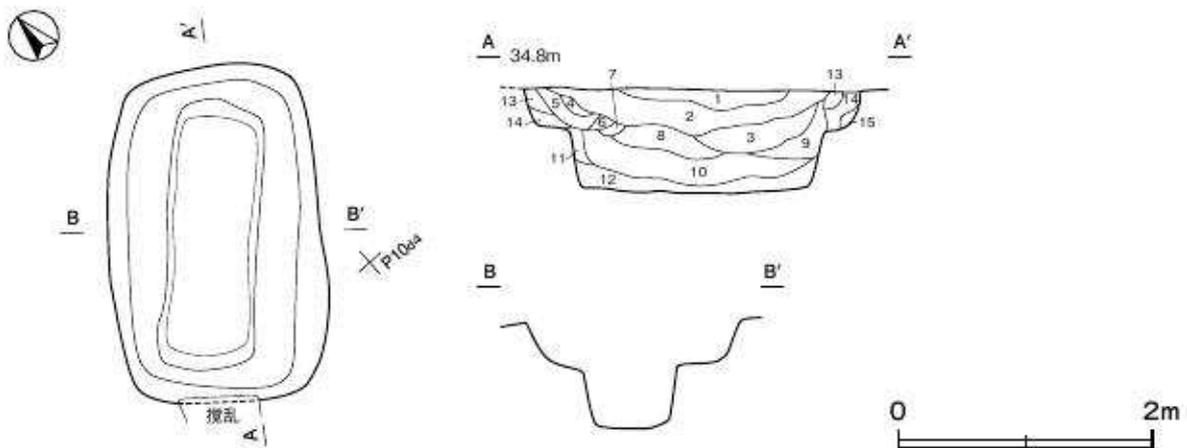
**覆土** 15層に分層できる。第1～3、8～10、12層はレンズ状に堆積し、第4～7、11、13～15層はブロック状に堆積している。第12層が堆積した後に、第11、13～15層が構築され、他の層が埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- |         |                  |        |                |
|---------|------------------|--------|----------------|
| 1 黒褐色   | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 9 暗褐色  | ロームブロック多量      |
| 2 暗褐色   | ローム粒子中量、炭化粒子微量   | 10 暗褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色   | ロームブロック中量、炭化粒子微量 | 11 暗褐色 | ローム粒子中量        |
| 4 暗褐色   | ロームブロック中量、炭化粒子少量 | 12 暗褐色 | ローム粒子中量、炭化粒子微量 |
| 5 褐色    | ローム粒子多量          | 13 暗褐色 | ローム粒子少量        |
| 6 濃い暗褐色 | ローム粒子多量          | 14 暗褐色 | ローム粒子多量        |
| 7 暗褐色   | ロームブロック少量        | 15 褐色  | ロームブロック多量      |
| 8 暗褐色   | ロームブロック中量        |        |                |

**遺物出土状況** 土師器片1点(甕)が出土しているが、小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第133図 第94号土坑実測図

### 第111号土坑（第134図）

**位置** 調査区西部のP10c5区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第131号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.54m、短軸1.20mの隅丸長方形で、約20cm掘り下げられた中段から長軸2.05m、短軸0.71mの長方形、深さは22cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-24°-Eである。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面はほぼ平坦で、西壁際中央部にピット状の凹みがある。

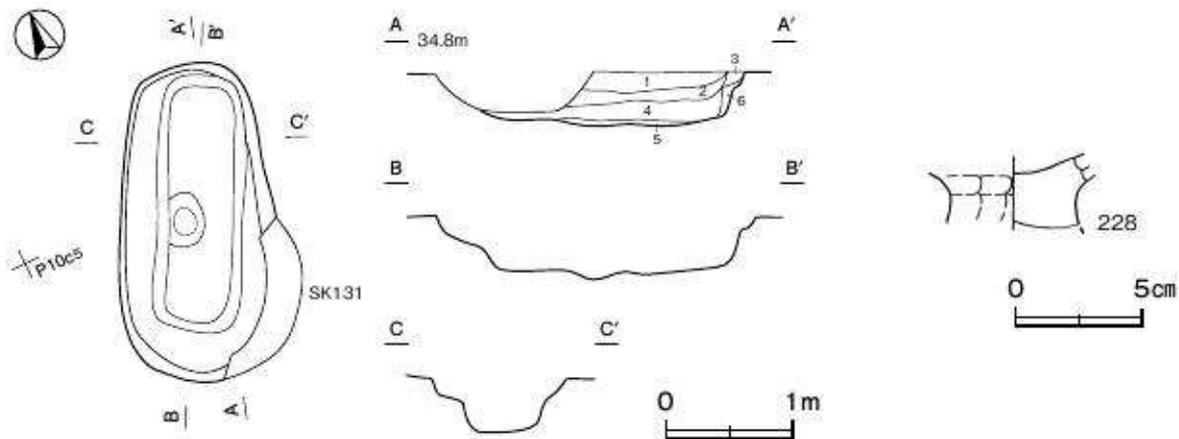
**覆土** 6層に分層できる。第1・2・4・5層はレンズ状に堆積し、第3、6層は壁際に堆積している。第3、6層が構築された後に、第1・2・4・5層が埋め戻されたと考えられる。

#### 土層解説

- |        |           |       |           |
|--------|-----------|-------|-----------|
| 1 黒褐色  | ローム粒子少量   | 4 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 極暗褐色 | ロームブロック少量 | 5 褐色  | ロームブロック中量 |
| 3 褐色   | ローム粒子中量   | 6 褐色  | ロームブロック多量 |

**遺物出土状況** 土師器片3点（高坏1、甕2）が出土している。228は、覆土中からの出土である。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。ピットは排水施設と考えられる。



第134図 第111号土坑・出土遺物実測図

#### 第111号土坑出土遺物観察表（第134図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土・色調	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
228	土師器	高坏	-	(24)	-	長石・石英・赤色粒子・細礫	橙	普通	頸部ナア	覆土中	5%

### 第214号土坑（第135図）

**位置** 調査区西部のP9f8区、標高34.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第213号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 確認面は、短軸1.25m、残存長軸2.00mの不整長方形で、約25cm掘り下げられた中段から短軸0.70m、残存長軸1.80mの長方形、深さ40cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-34°-Eである。壁は直立している。底面は平坦である。

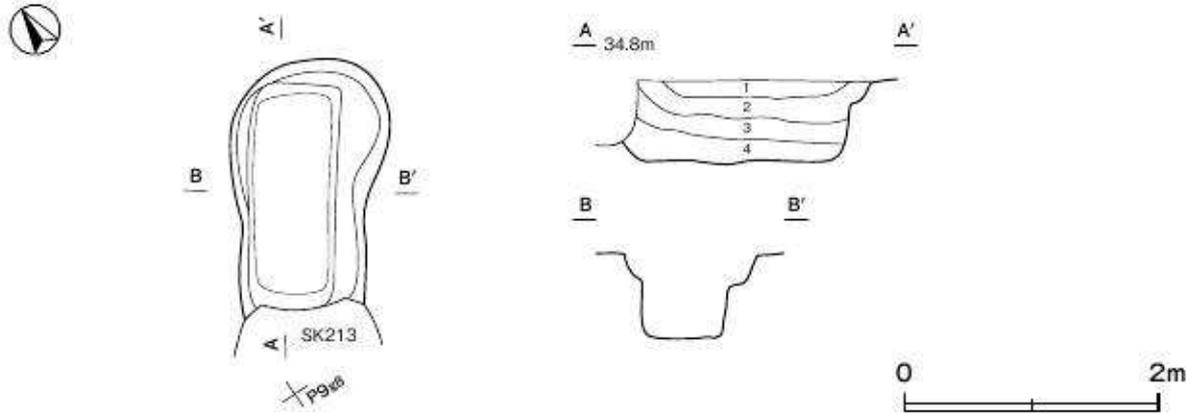
**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

所見 形状から、墓坑として利用されたと考えられる。



第 135 図 第 214 号土坑実測図

第 218 号土坑 (第 136 図)

位置 調査区西部の P9e9 区、標高 34.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 確認面は、長軸 2.72m、短軸 1.24m の長方形で、約 15cm 掘り下げられた中段から長軸 2.33m、短軸 0.70m の長方形、深さ 42cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は  $N-60^{\circ}-E$  である。壁は上段は緩やかに傾斜し、下段は直立している。底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

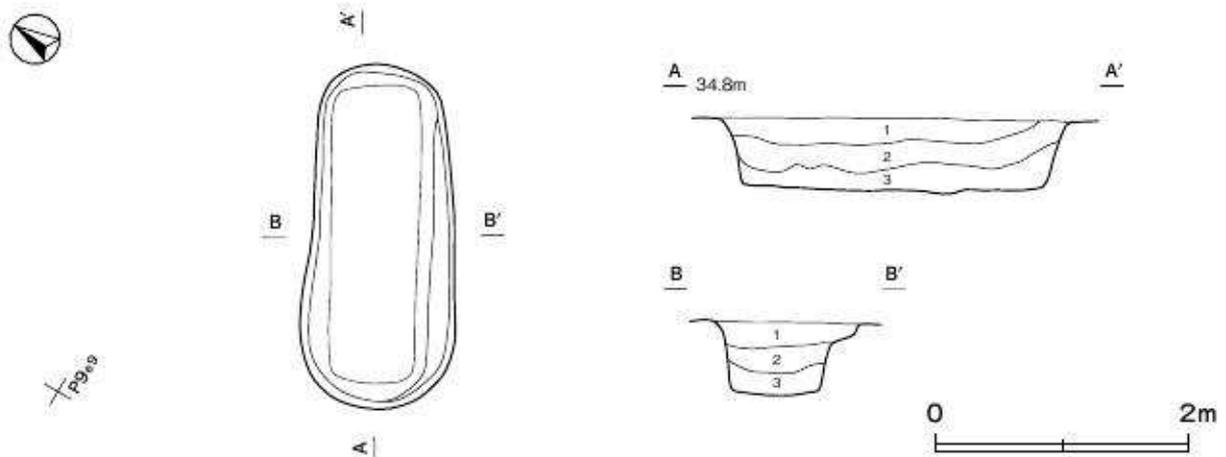
土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

- 3 暗褐色 ローム粒子多量

遺物出土状況 土師器片 21 点(甕)が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

所見 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第 136 図 第 218 号土坑実測図

**第 219 号土坑 (第 137 図)**

**位置** 調査区西部の P9f6 区、標高 34.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

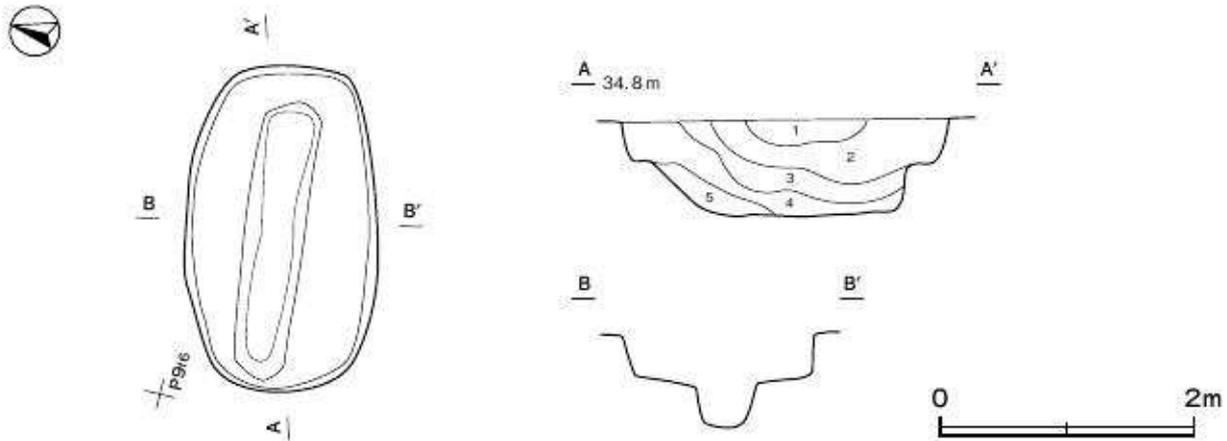
**規模と形状** 確認面は、長軸 2.58m、短軸 1.52m の隅丸長方形で、約 35cm 掘り下げられた中段から長軸 2.23m、短軸 0.47m の長楕円形、深さ 30cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は  $N-75^{\circ}-E$  である。壁は上段はほぼ直立し、下段は直立している。底面は平坦である。

**覆土** 5 層に分層できる。ロームブロックや炭化材が多く含まれており、堆積状況から、西側から埋め戻されている。

**土層解説**

- |        |                      |       |           |
|--------|----------------------|-------|-----------|
| 1 極暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量、炭化物微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色  | ロームブロック少量            | 5 暗褐色 | ローム粒子少量   |
| 3 黒褐色  | ロームブロック少量、炭化粒子微量     |       |           |

**所見** 形状から、墓坑として利用されたと考えられる。



第 137 図 第 219 号土坑実測図

**第 221 号土坑 (第 138 図 PL23)**

**位置** 調査区西部の P10h1 区、標高 34.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第 27・28 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.31m、短軸 1.24m の長方形で、約 20cm 掘り下げられた中段から長軸 2.03m、短軸 0.85m の長方形、深さ 40cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は  $N-0^{\circ}$  である。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面は平坦である。

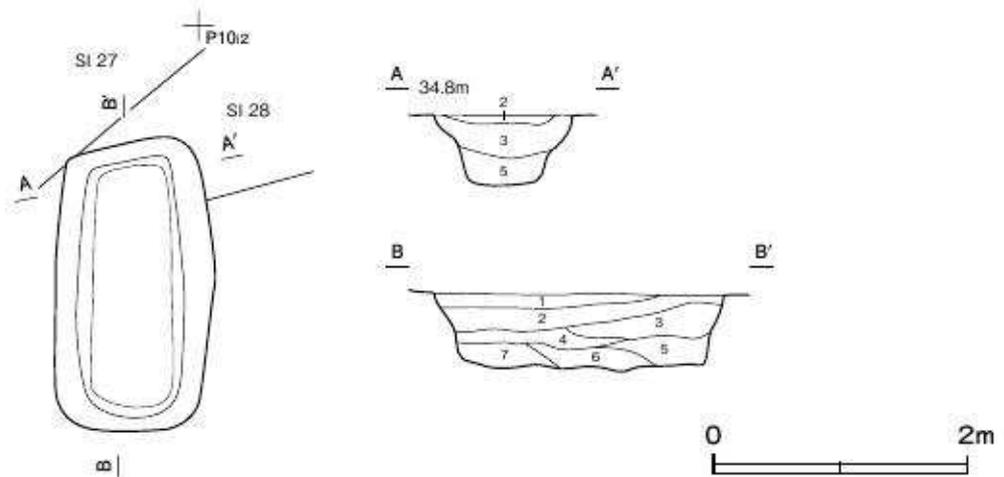
**覆土** 7 層に分層できる。第 1・2 層は、自然堆積である。第 3～7 層は、不規則な堆積状況から、埋め戻されている。

**土層解説**

- |         |           |       |           |
|---------|-----------|-------|-----------|
| 1 暗褐色   | ロームブロック微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 濃い暗褐色 | ロームブロック少量 | 6 暗褐色 | ローム粒子中量   |
| 3 濃い暗褐色 | ロームブロック中量 | 7 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 黒褐色   | ローム粒子少量   |       |           |

**遺物出土状況** 土師器片 21 点 (坏 1、甕類 20) が出土している。いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 第 27・28 号竪穴建物跡を掘り込んでいることと、出土遺物から古墳時代中期より新しい遺構である。



第 138 図 第 221 号土坑実測図

### 第 233 号土坑 (第 139 図)

**位置** 調査区西部の P10h5 区、標高 34.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.54m、短軸 1.43m の長楕円形で、約 15cm 掘り下げられた中段から長軸 2.25m、短軸 0.86m の長楕円形、深さ 40cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は  $N-32^{\circ}-E$  である。壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

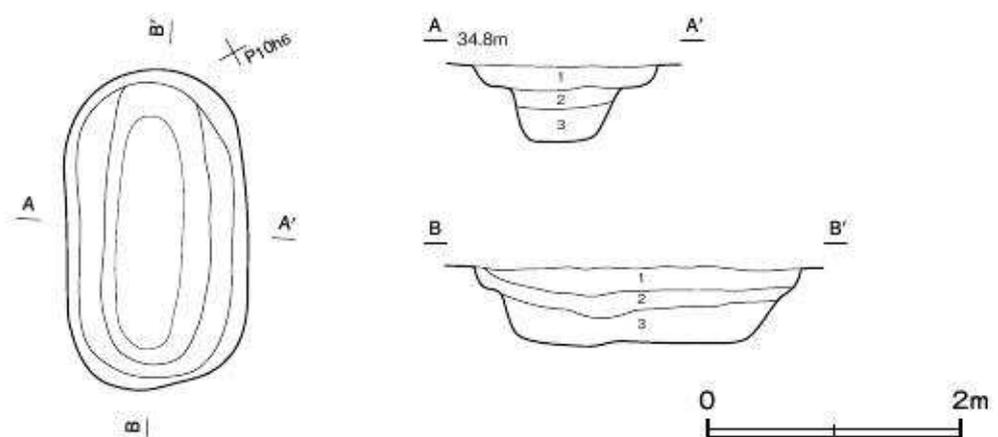
**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックや炭化材が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物・焼土粒子少量 | 3 極暗褐色 ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量     |                  |

**遺物出土状況** 土師器片 33 点 (坏 15、甕類 18)、石器 1 点 (砥石) が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第 139 図 第 233 号土坑実測図

### 第250号土坑 (第140図 PL23)

**位置** 調査区南部のQ12j1区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.42m、短軸1.52mの長方形で、約17cm掘り下げられた中段から長軸1.83m、短軸0.52mの長方形、深さ35cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-2°-Wである。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面は平坦である。

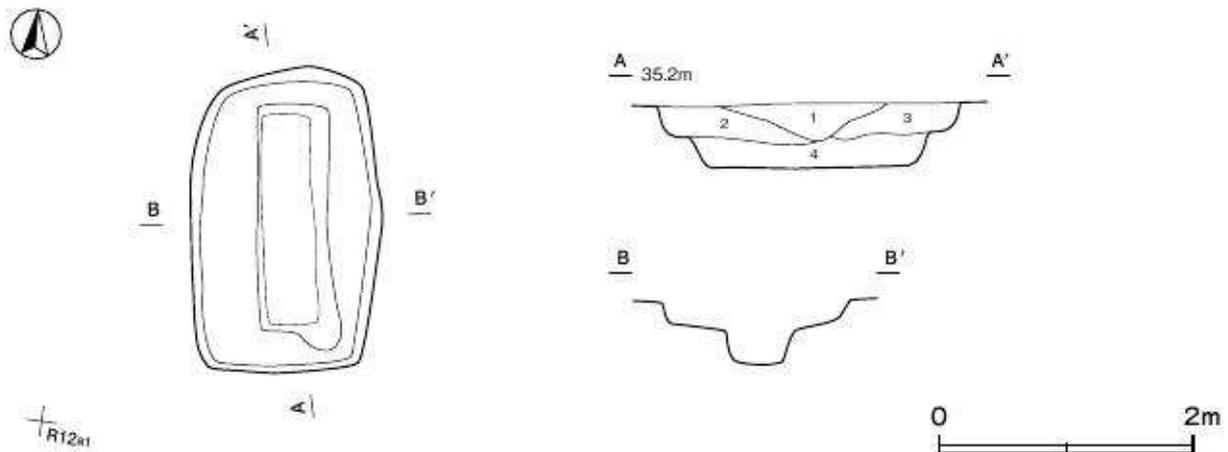
**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックや粒子、炭化物、焼土ブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

#### 土層解説

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 黒褐色 炭化物少量、焼土ブロック・ローム粒子微量 | 3 暗褐色 炭化物・ローム粒子少量、焼土粒子微量 |
| 2 黒褐色 炭化物少量、ローム粒子・焼土粒子微量   | 4 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量       |

**遺物出土状況** 土師器片3点(甕類)が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第140図 第250号土坑実測図

### 第252号土坑 (第141図)

**位置** 調査区南東部のQ13c1区、標高35.5mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.82m、短軸2.00mの隅丸長方形で、約50cm掘り下げられた中段から長軸1.85m、短軸0.70mの長方形、深さ46cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-83°-Eである。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面はほぼ平坦である。

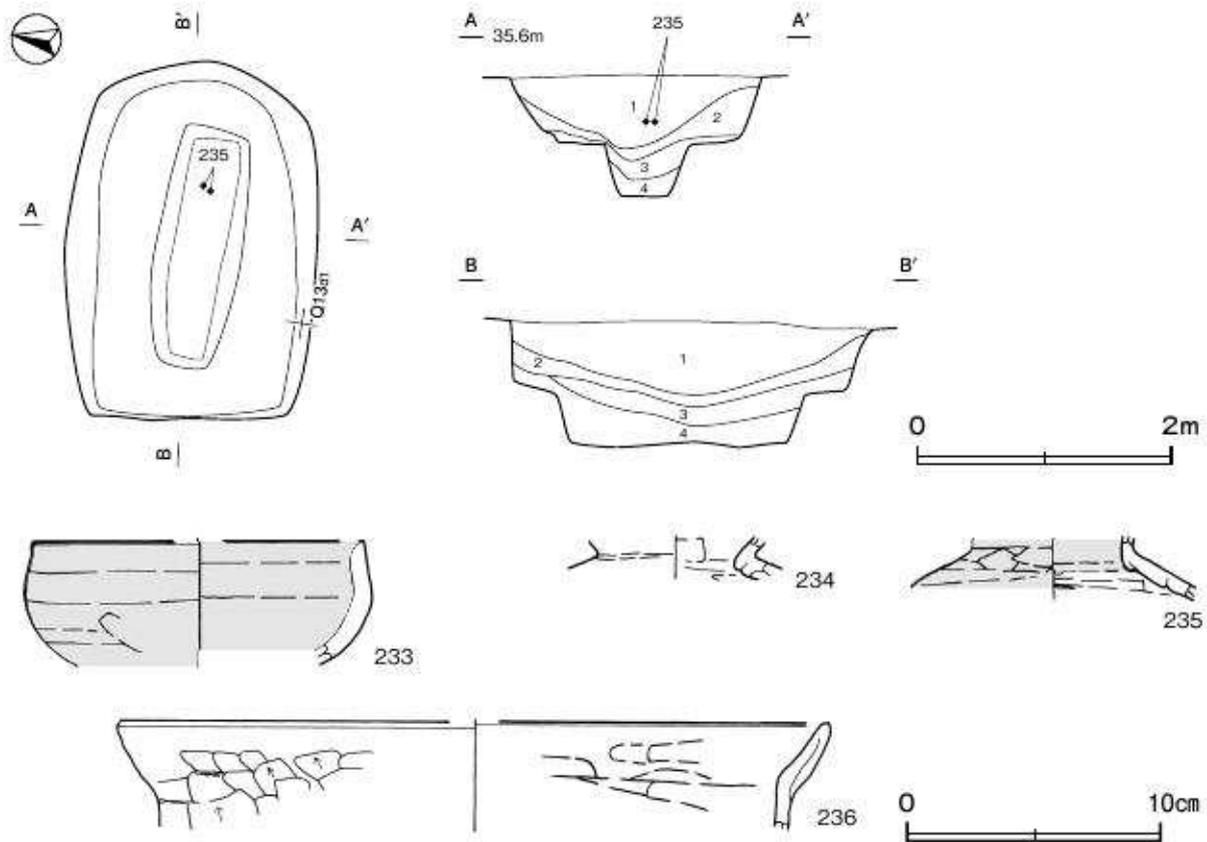
**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

#### 土層解説

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック少量 | 3 暗褐色 ローム粒子少量         |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量 | 4 暗褐色 ロームブロック中量、炭化物微量 |

**遺物出土状況** 土師器片87点(坏18、壺2、甕類67)、須恵器片1点(坏)が出土している。235は、覆土中層から出土している。233・234・236は、いずれも覆土中からの出土である。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第141図 第252号土坑・出土遺物実測図

第252号土坑出土遺物観察表（第141図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土・色調	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
233	土師器	埴	[13.0]	(4.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	外・内面横位のヘラナデ	覆土中	10%
234	土師器	壺	-	(1.7)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐色	普通	外・内面ヘラナデ	覆土中	5%
235	土師器	壺	-	(2.4)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外・内面ヘラナデ	覆土中層	5%
236	土師器	甕	[28.0]	(4.3)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面ヘラナデ 内面横位のヘラナデ	覆土中	10%

### 第278号土坑（第142図 PL23）

**位置** 調査区南部のQ11h5区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

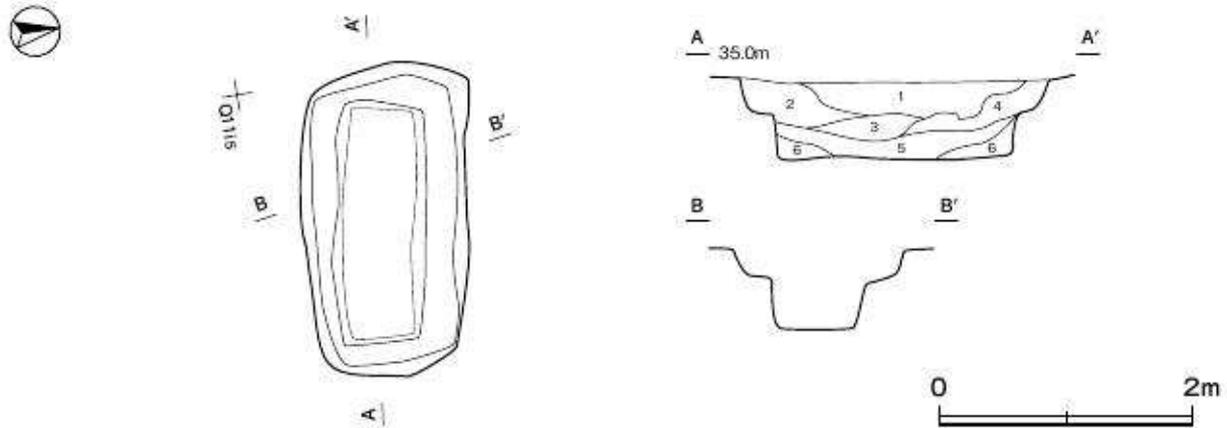
**規模と形状** 確認面は、長軸2.46m、短軸1.28mの不整長方形で、約25cm掘り下げられた中段から長軸1.95m、短軸0.74mの長方形、深さ39cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-83°-Wである。壁は上段が外傾し、下段は直立している。底面は平坦である。

**覆土** 6層に分層できる。ロームブロックやローム粒子が含まれていることから、埋め戻されている。

#### 土層解説

- |        |           |       |   |           |
|--------|-----------|-------|---|-----------|
| 1 黒褐色  | ロームブロック微量 | 4 褐色  | 色 | ロームブロック中量 |
| 2 褐色   | ローム粒子中量   | 5 暗褐色 | 色 | ローム粒子少量   |
| 3 極暗褐色 | ロームブロック微量 | 6 褐色  | 色 | ローム粒子多量   |

**遺物出土状況** 土師器片7点（坏1，甕類6）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。  
**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第 142 図 第 278 号土坑実測図

**第 293 号土坑（第 143 図）**

**位置** 調査区東部の P13g3 区、標高 35.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.56m、短軸 1.66m の不整長方形で、約 10cm 掘り下げられた中段から長軸 2.34m、短軸 0.76m の長方形、深さ 67cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N - 32° - E である。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面はほぼ平坦である。

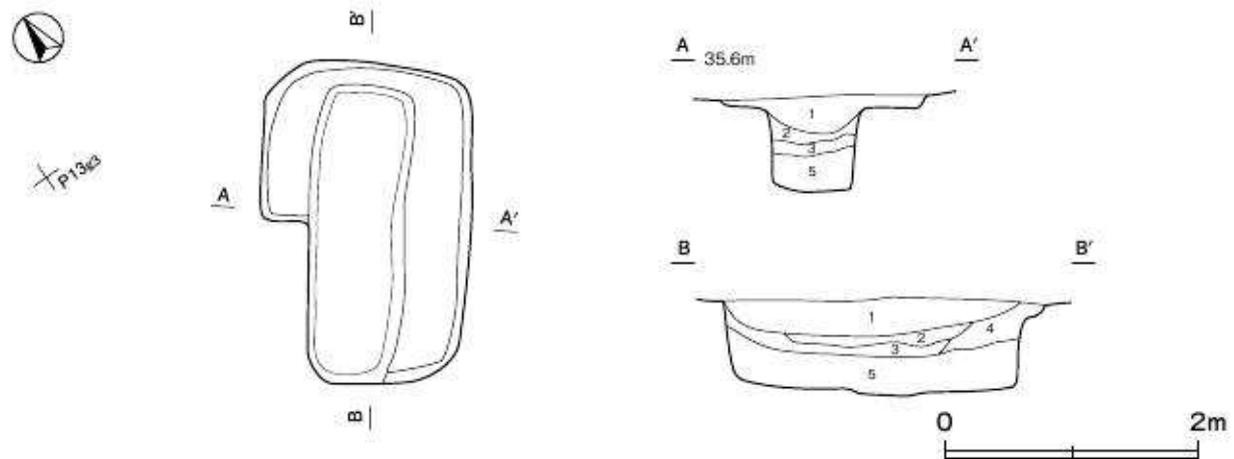
**覆土** 5 層に分層できる。ロームブロックや炭化物が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                |       |                  |
|-------|----------------|-------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子微量 | 5 暗褐色 | ローム粒子中量、炭化物微量    |
| 3 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 |       |                  |

**遺物出土状況** 土師器片3点（甕類）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第 143 図 第 293 号土坑実測図

**第 294 号土坑 (第 144 図)**

**位置** 調査区東部の P13h4 区、標高 35.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.50m、短軸 1.16m の長方形で、約 5cm 掘り下げられた中段から長軸 2.08m、短軸 0.77m の長方形、深さ 58cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N-7°-E である。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面中央部には、溝状の掘り込みがある。

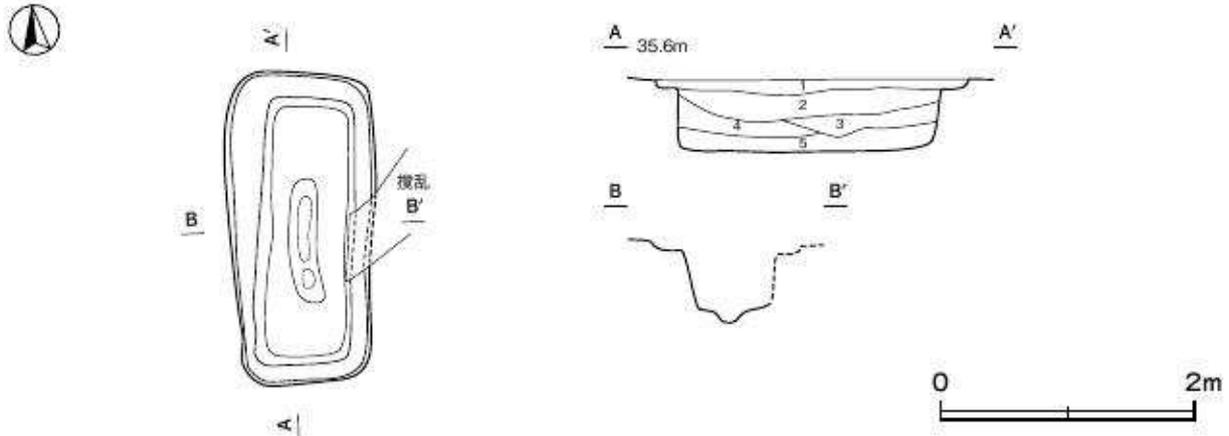
**覆土** 5層に分層できる。ロームブロックや炭化材が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                       |       |                  |
|-------|-----------------------|-------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 4 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量   |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量        | 5 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化物微量       |       |                  |

**遺物出土状況** 土師器片 3 点 (甕類) が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。

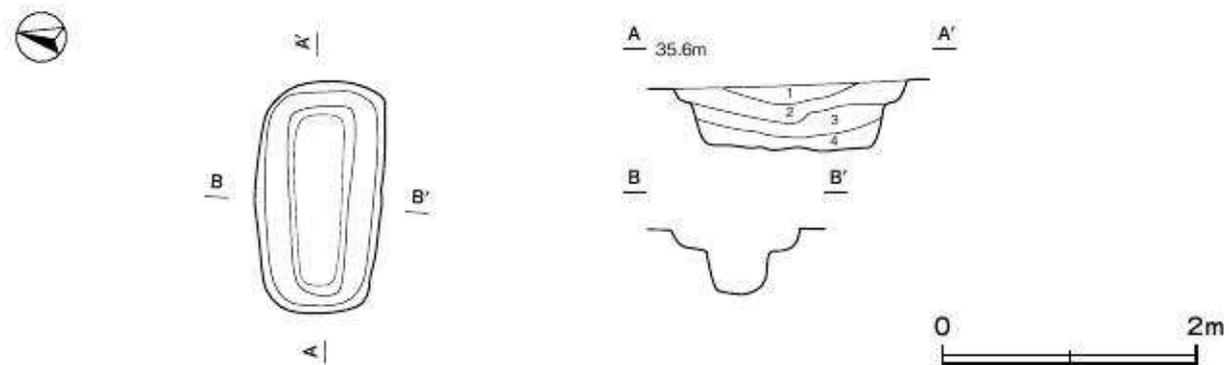


第 144 図 第 294 号土坑実測図

**第 301 号土坑 (第 145 図)**

**位置** 調査区東部の Q12a9 区、標高 35.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 1.83m、短軸 1.01m の隅丸長方形で、約 20cm 掘り下げられた中段から長軸 1.53m、短軸 0.51m の長方形、深さは 34cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N-80°-E である。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面はほぼ平坦である。



第 145 図 第 301 号土坑実測図

**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックや炭化物が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量     | 3 極暗褐色 炭化粒子中量、ローム粒子微量 |
| 2 黒褐色 炭化粒子中量、ロームブロック少量 | 4 黒褐色 ローム粒子少量、炭化物微量   |

**遺物出土状況** 土師器片2点(甕類)が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。

**第303号土坑 (第146図 PL24)**

**位置** 調査区東部のQ12d9区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

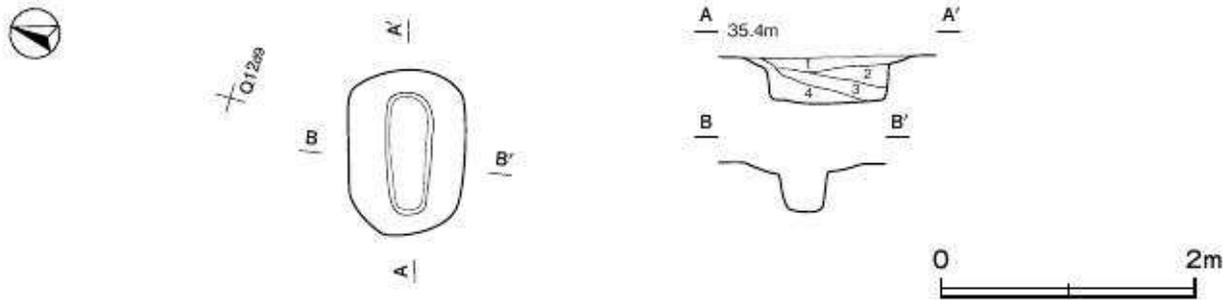
**規模と形状** 確認面は、長軸1.30m、短軸0.92mの隅丸長方形で、約3cm掘り下げられた中段から長軸0.98m、短軸0.38mの隅丸長方形、深さは36cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-74°-Eである。壁は上段が外傾し、下段は直立している。底面は平坦である。

**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックや炭化物が含まれており、堆積状況から、西側から埋め戻されている。

**土層解説**

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量 | 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量    | 4 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量      |

**所見** 形状から、墓坑として利用されたと考えられる。



第146図 第303号土坑実測図

**第305号土坑 (第147図)**

**位置** 調査区南西部のP13j2区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

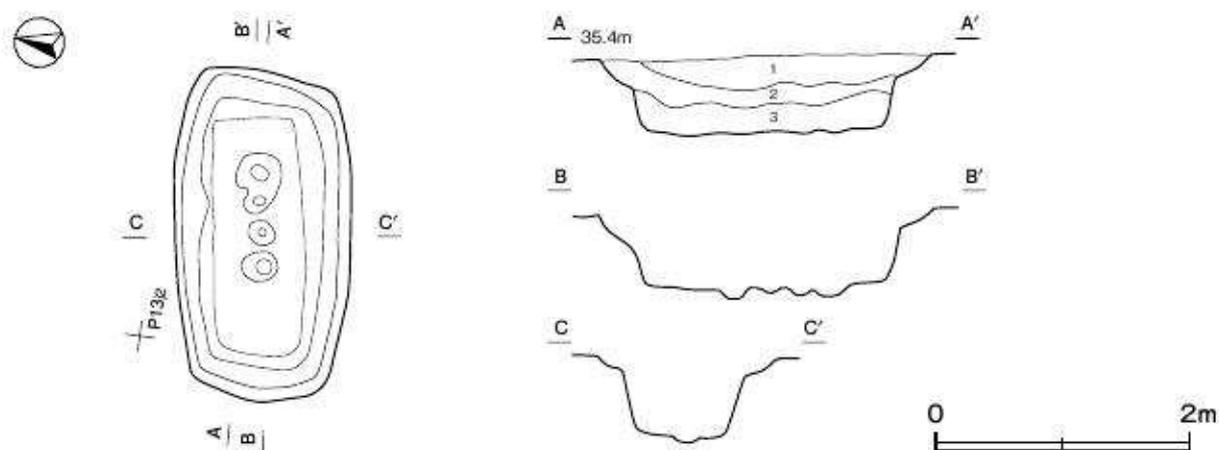
**規模と形状** 確認面は、長軸2.64m、短軸1.39mの長方形で、約15cm掘り下げられた中段から長軸2.00m、短軸0.70mの長方形、深さ60cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-83°-Eである。壁は上段が外傾し、下段は緩やかに傾斜している。底面には、ピットが4か所ある。

**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックや粒子、炭化粒子が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 暗褐色 炭化物中量、ロームブロック少量 | 3 暗褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量  |                      |

**所見** 底面のピットは排水施設と考えられる。



第 147 図 第 305 号土坑実測図

### 第 347 号土坑 (第 148 図)

**位置** 調査区西部の Q11d4 区、標高 34.5 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.60m、短軸 1.48m の不整長方形で、約 20cm 掘り下げられた中段から長軸 2.15m、短軸 0.90m の長方形、深さ 65cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N - 66° - E である。壁は直立しており、底面は平坦である。

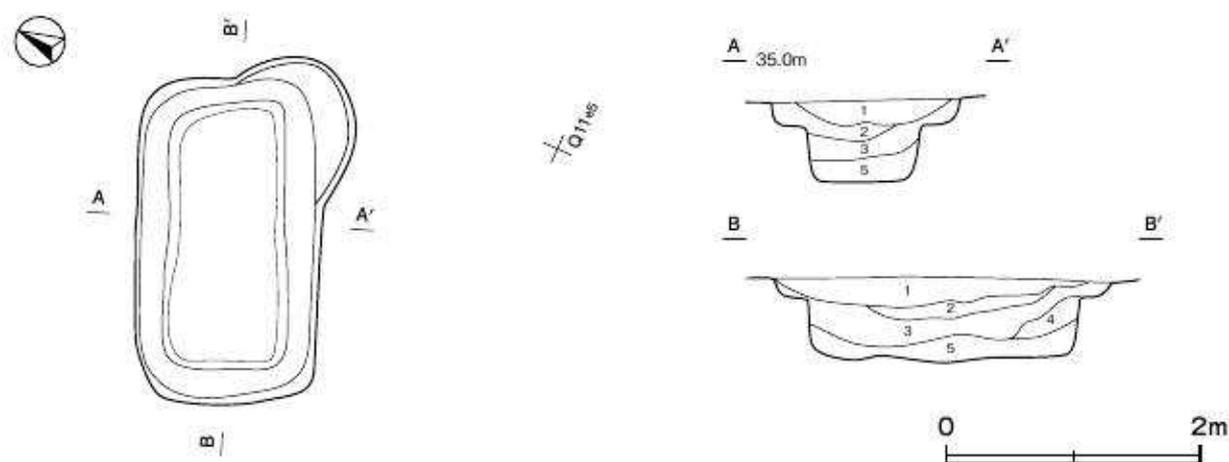
**覆土** 5 層に分層できる。ロームブロックや炭化材が含まれていることから、埋め戻されている。

#### 土層解説

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子多量、焼土粒子少量   | 4 暗褐色 ロームブロック多量  |
| 2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量 | 5 藍暗褐色 ロームブロック中量 |
| 3 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量 |                  |

**遺物出土状況** 土師器片 7 点 (甕類) が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第 148 図 第 347 号土坑実測図

### 第 370 号土坑 (第 149 図)

**位置** 調査区南部の R12c4 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第41号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.86m、短軸1.38mの長方形で、約20cm掘り下げられた中段から長軸2.31m、短軸0.82mの隅丸長方形、深さ38cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-9°-Eである。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面はほぼ平坦である。

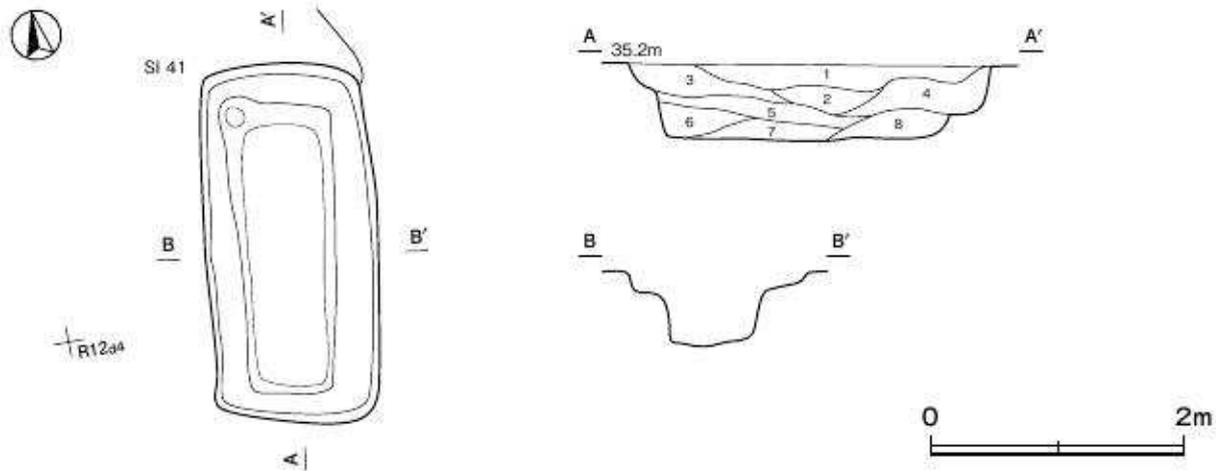
**覆土** 8層に分層できる。ロームブロックや焼土、炭化物が含まれ、不規則な堆積状況から埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                 |       |                         |
|-------|-----------------|-------|-------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化物少量   | 5 黒褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量 |
| 2 黒褐色 | 炭化物中量、ロームブロック少量 | 6 暗褐色 | 炭化粒子中量、ロームブロック少量        |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化物微量 | 7 暗褐色 | 炭化粒子中量、ローム粒子少量          |
| 4 黒褐色 | 炭化物・ローム粒子少量     | 8 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量          |

**遺物出土状況** 土師器片11点（坏1、甕類10）、剥片1点が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 第41号竪穴建物跡を掘り込み、出土した遺物は古墳時代中期の土器片であることから、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第149図 第370号土坑実測図

**第375号土坑（第150図 PL24）**

**位置** 調査区南部のQ12j3区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.68m、短軸2.03mの不整長方形で、約20cm掘り下げられた中段から長軸2.25m、短軸0.71mの長方形、深さ45cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-88°-Eである。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面は平坦である。

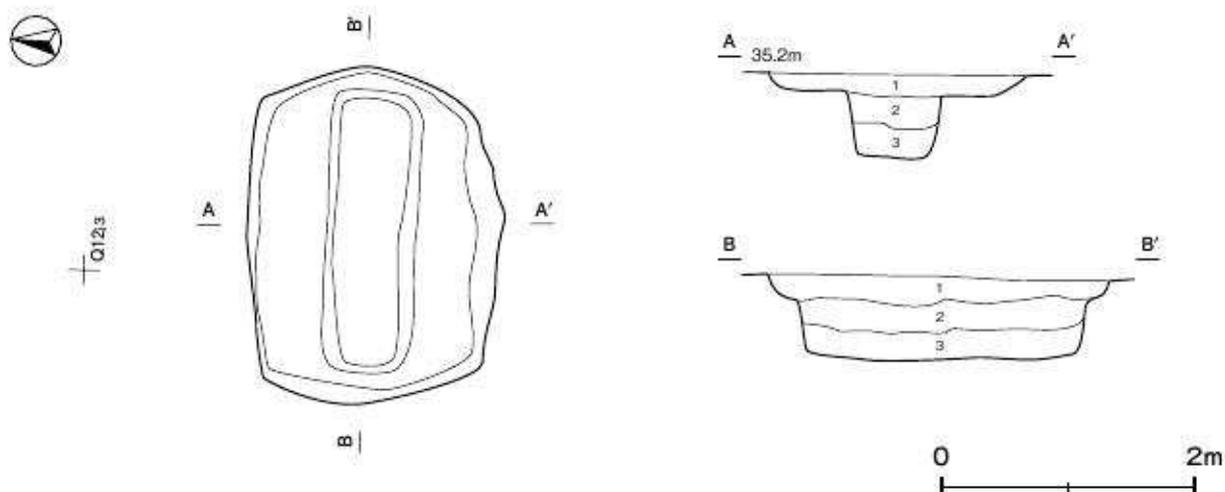
**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックや焼土、炭化材が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                     |       |           |
|-------|---------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子微量      | 3 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |       |           |

**遺物出土状況** 土師器片10点（甕類）、須恵器片1点（甕）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第150図 第375号土坑実測図

### 第383号土坑（第151図）

**位置** 調査区西部のQ11f5区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.13m、短軸1.22mの隅丸長方形で、約15cm掘り下げられた中段から長軸1.53m、短軸0.65mの長方形、深さ43cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-73°-Eである。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面は平坦である。

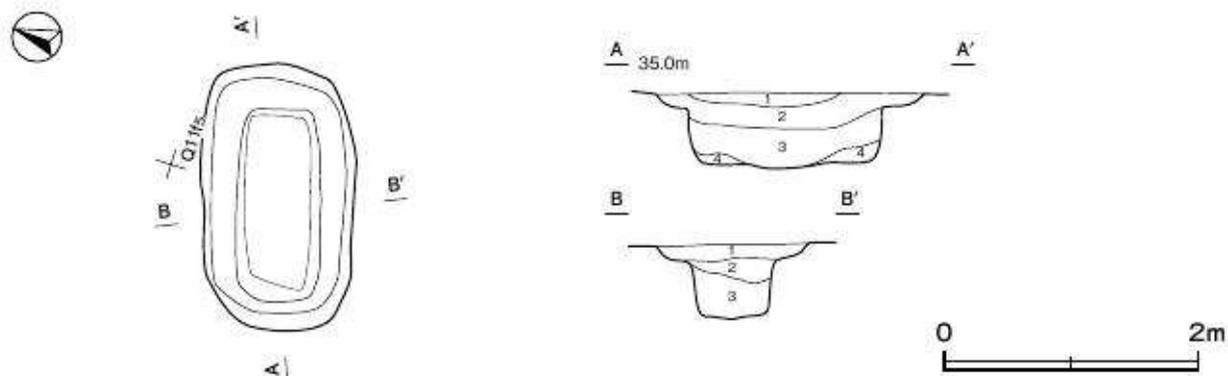
**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック少量 | 3 黒褐色 ロームブロック中量、換土粒子少量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック中量 | 4 暗褐色 ローム粒子中量          |

**遺物出土状況** 土師器片3点（坏1、甕類2）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第151図 第383号土坑実測図

### 第392号土坑（第152図）

**位置** 調査区西部のQ11c2区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸2.44m、短軸1.18mの隅丸長方形で、約17cm掘り下げられた中段から長軸2.05m、短軸0.80mの隅丸長方形、深さ49cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-65°-Eである。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面は凹凸しており、中央部が凹んでいる。

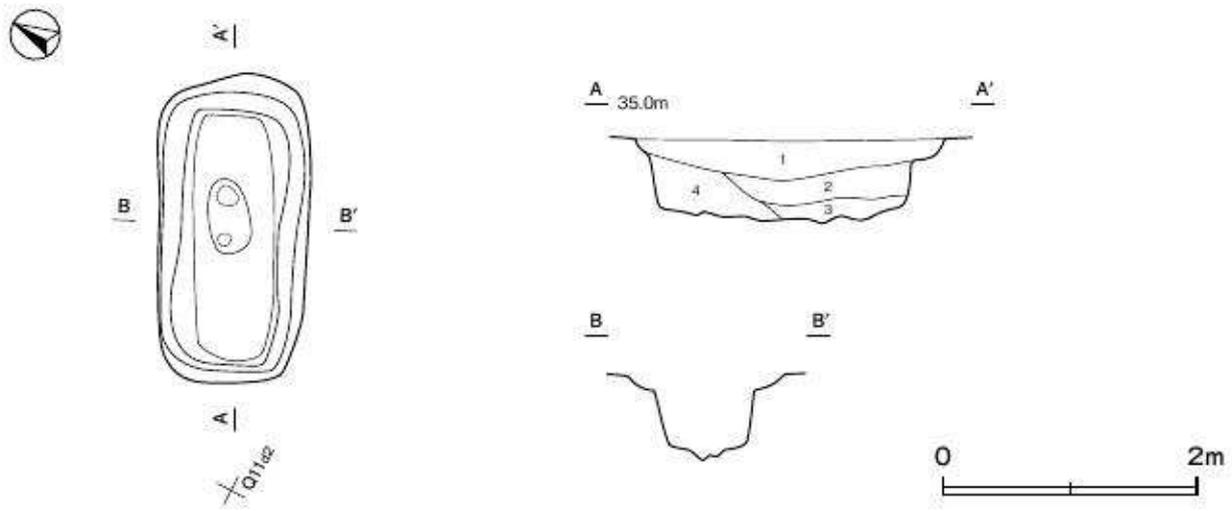
**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックや焼土、炭化物が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                |       |                 |
|-------|----------------|-------|-----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・炭化物少量  | 3 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子少量    |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 | 4 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化物微量 |

**遺物出土状況** 土師器片1点(甕類)が出土している。小破片のため、図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第152図 第392号土坑実測図

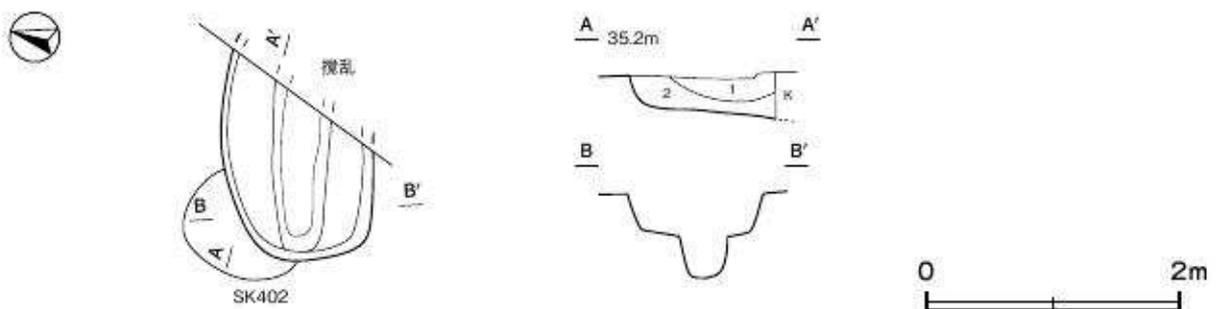
**第403号土坑 (第153図)**

**位置** 調査区南部のQ12d3区、標高35.0mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第402号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 確認面は、短軸1.18m、残存長軸1.60mの楕円形で、約30cm掘り下げられた中段から短軸0.37m、残存長軸1.36mの楕円形、深さ35cmほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向はN-77°-Eである。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面は平坦である。

**覆土** 2層に分層できる。ロームブロックや炭化物が含まれていることから、埋め戻されている。



第153図 第403号土坑実測図

土層解説

1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量

2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

所見 形状から、墓坑として利用されたと考えられる。

第 405 号土坑 (第 154 図 PL24)

位置 調査区南部の Q12f5 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 確認面は、長軸 2.35m、短軸 1.34m の長方形で、約 10cm 掘り下げられた中段から長軸 2.05m、短軸 0.70m の長方形、深さ 44cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N - 16° - E である。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面には短軸に平行するように 2 条の掘り込みがある。

覆土 3 層に分層できる。ロームブロックや炭化物が含まれていることから、埋め戻されている。

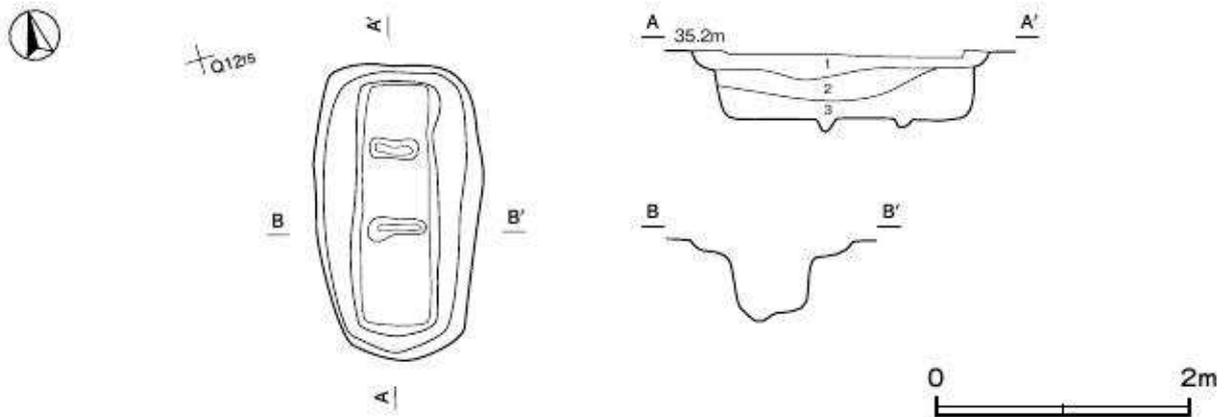
土層解説

1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

3 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量

2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

所見 底面の 2 条の溝は、排水施設と考えられる。形状から、墓坑として利用されたと考えられる。



第 154 図 第 405 号土坑実測図

第 406 号土坑 (第 155 図 PL25)

位置 調査区南部の Q12f4 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 確認面は、長軸 1.88m、短軸 0.96m の楕円形で、約 20cm 掘り下げられた中段から長軸 1.35m、短軸 0.50m の長方形、深さ 32cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N - 84° - W である。壁は上段は外傾し、下段はほぼ直立している。底面の中央部には、溝状の掘り込みがある。

覆土 5 層に分層できる。ロームブロックや焼土、炭化材が含まれ、不規則な堆積状況から、埋め戻されている。

土層解説

1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量

4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

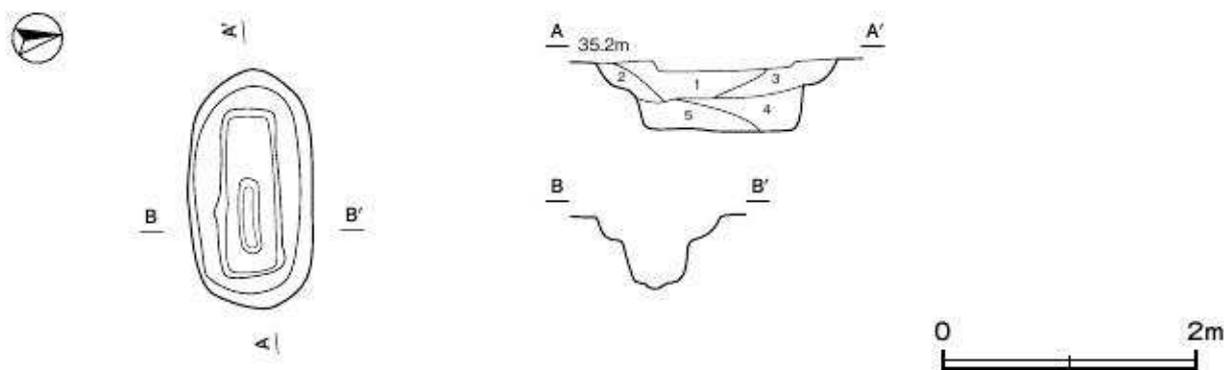
2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量

5 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 土師器片 2 点 (坏、甕類) が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

所見 底面の溝は、排水施設と考えられる。出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第 155 図 第 406 号土坑実測図

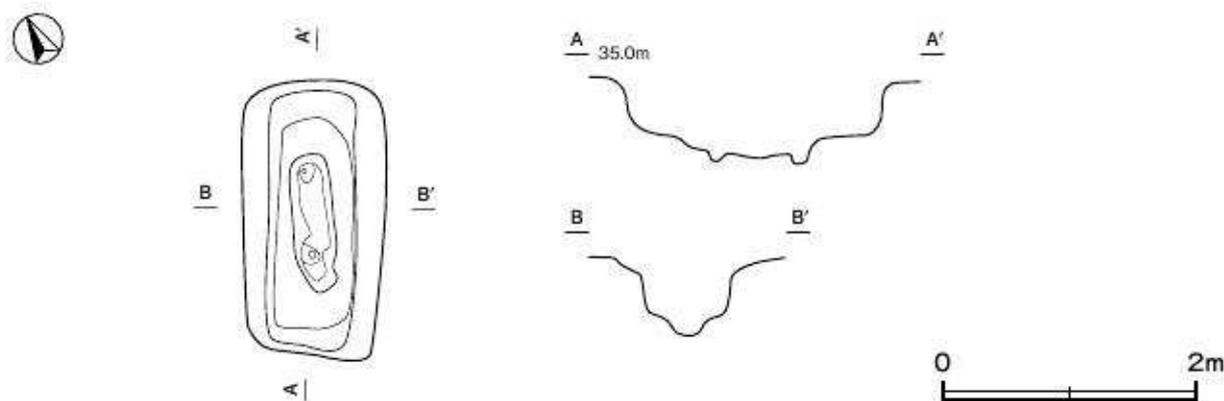
第 413 号土坑 (第 156 図 PL25)

**位置** 調査区西部の Q11f8 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.20m、短軸 1.14m の隅丸長方形で、約 5cm 掘り下げられた中段から長軸 2.05m、短軸 0.70m の長方形、深さ 40cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は  $N - 30^{\circ} - E$  である。壁は上段は外傾し、下段は直立している。底面の中央部には、溝状の掘り込みがある。

**遺物出土状況** 土師器片 1 点 (甕類)、須恵器片 2 点 (坏蓋、甕) が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 底面の溝は、排水施設と考えられる。出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



第 156 図 第 413 号土坑実測図

第 417 号土坑 (第 157 図 PL25)

**位置** 調査区南部の Q12b5 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.12m、短軸 1.23m の不整長方形で、約 30cm 掘り下げられた中段から長軸 1.73m、短軸 0.61m の長方形、深さ 37cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は  $N - 80^{\circ} - E$  である。壁は、上段・下段ともに直立している。底面は平坦である。

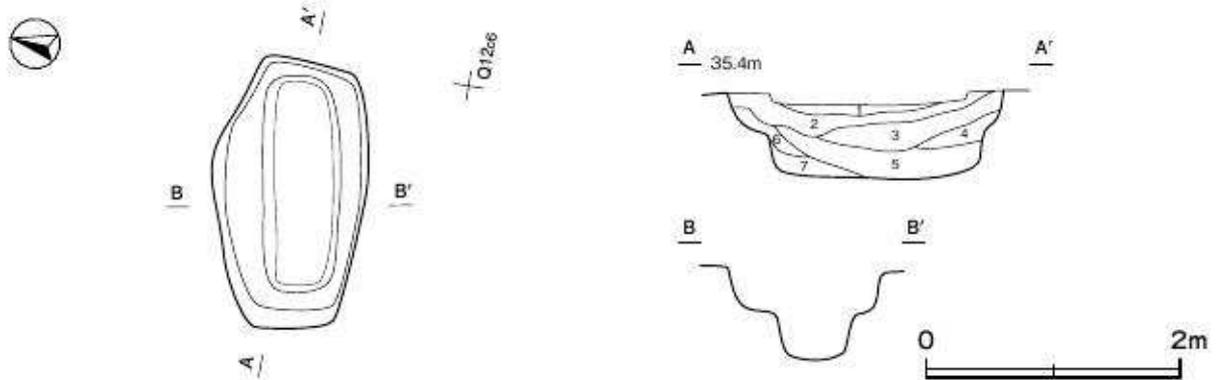
**覆土** 7 層に分層できる。ロームブロックや炭化粒子が含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                  |       |           |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量     | 5 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 6 褐色  | ローム粒子多量   |
| 3 暗褐色 | ローム粒子少量          | 7 褐色  | ロームブロック多量 |
| 4 褐色  | ローム粒子中量          |       |           |

**遺物出土状況** 土師器片 12 点（坏 5、甕類 7）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



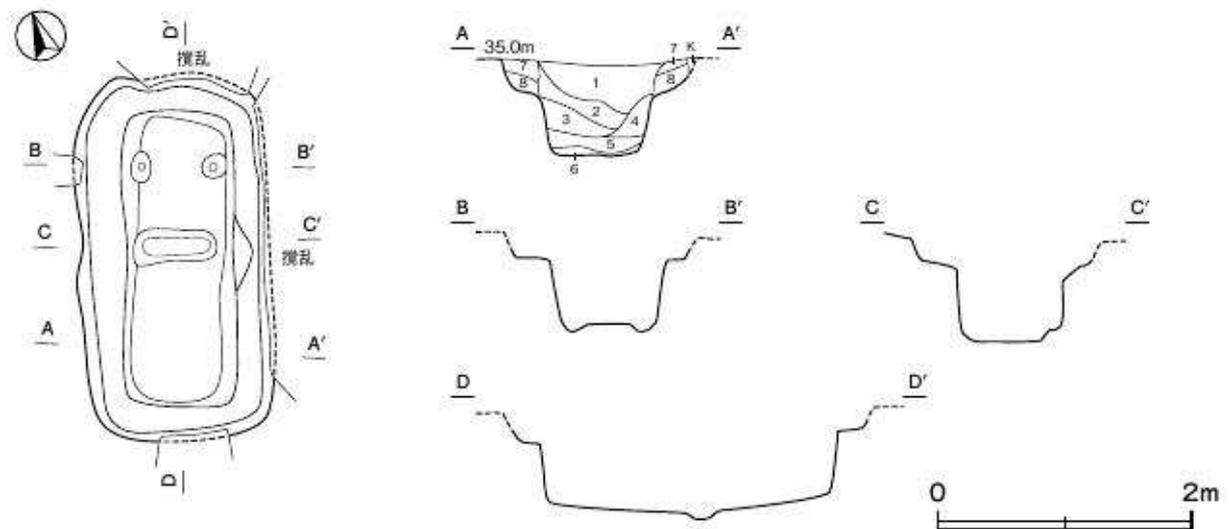
第 157 図 第 417 号土坑実測図

**第 455 号土坑（第 158 図 PL26）**

**位置** 調査区中央部の O11h8 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.93m、短軸 1.53m の長方形で、約 25cm 掘り下げられた中段から長軸 2.35m、短軸 0.91m の長方形、深さ 49cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N - 18° - E である。壁は直立している。底面中央には、短軸と平行する溝状の掘り込みがある。北側には、ピット状の掘り込みが 2 か所ある。

**覆土** 8 層に分層できる。第 7・8 層が構築された後に、第 1～6 層が埋め戻されている。



第 158 図 第 455 号土坑実測図

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック多量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

- 5 暗褐色 ローム粒子多量、炭化物微量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量
- 7 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 8 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片 11 点（甕類）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 底面の溝やピットは、排水施設と考えられる。出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。

**第 462 号土坑（第 159 図）**

**位置** 調査区南東部の Q12a5 区、標高 35.0 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は、長軸 2.12m、確認できた短軸 0.92m の楕円形で、約 15cm 掘り下げられた中段から長軸 1.90m、確認できた短軸 0.53m の長楕円形、深さ 31cm ほどの土坑が掘り込まれている。長軸方向は N - 28° - E である。壁は外傾している。底面の中央部には、溝状の掘り込みがある。

**覆土** 9 層に分層できる。ロームブロックや焼土、炭化材が含まれていることから、埋め戻されている。

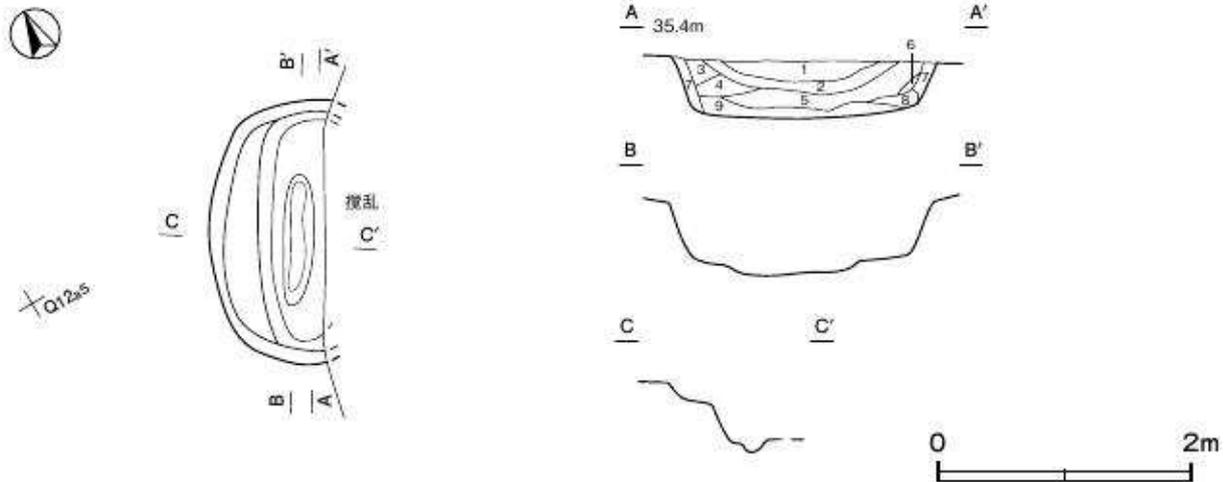
**土層解説**

- 1 黒褐色 炭化粒子少量、ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 炭化物少量、ロームブロック微量
- 3 灰褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 4 灰褐色 炭化物・ローム粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・炭化物・焼土粒子少量

- 6 褐色 ロームブロック中量
- 7 にぶい黄褐色 ローム粒子多量
- 8 灰褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 9 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量

**遺物出土状況** 土師器片 4 点（甕類）が出土しているが、いずれも小破片のため図化できない。

**所見** 底面の溝は、排水施設と考えられる。出土した遺物は、古墳時代中期の土器片であるため、本遺構はそれよりも新しいと考えられる。



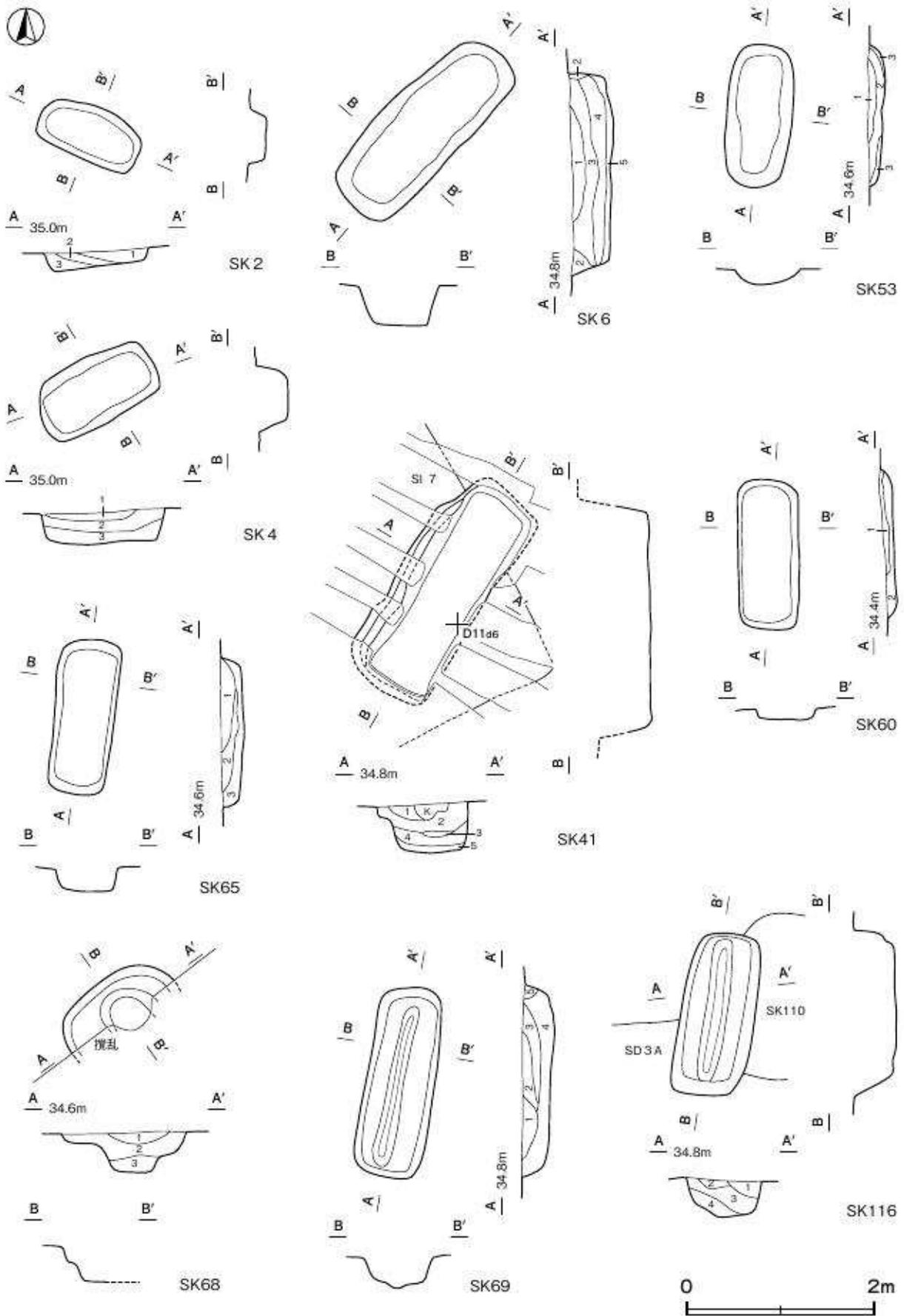
第 159 図 第 462 号土坑実測図

表5 有段土坑一覧表

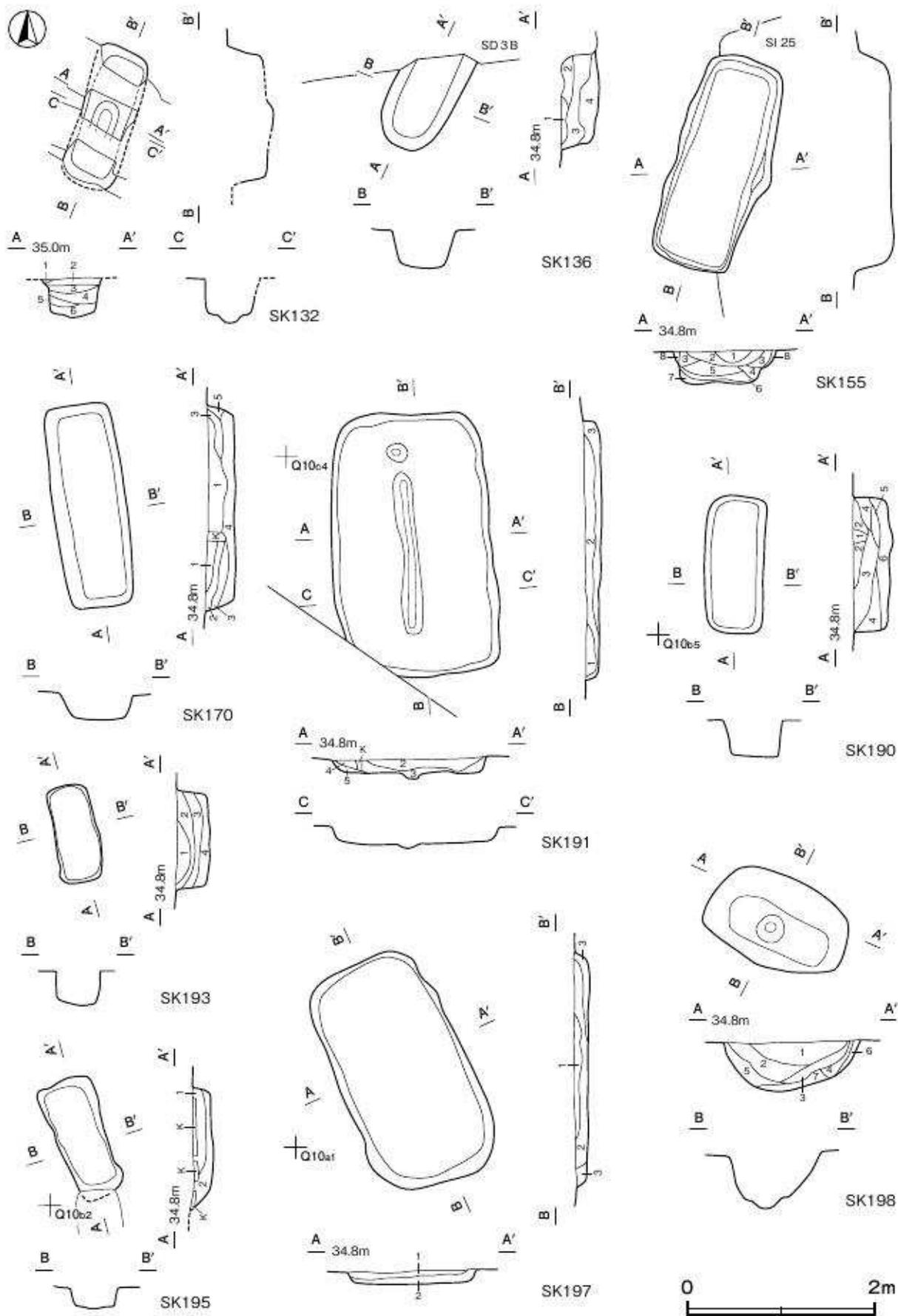
番号	位置	長径方向	平面形	規 模			壁 面 上段 下段	底 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				上段 長径×短径 (m)	下段 長径×短径 (m)	深さ (cm)					
38	N107	N-80°-W	長方形	3.08 × 1.90	2.49 × 0.83	80	外傾 直立	平坦	人為	須恵器	
58	O102	N-32°-E	長方形	2.16 × 1.18	1.75 × 0.61	74	外傾 直立	短軸に溝3条	人為		本跡→SK17
94	P10e3	N-38°-E	長方形	2.66 × 1.70	2.16 × 0.75	80	外傾 直立	平坦	人為	土師器	
111	P10e5	N-24°-E	隅丸長方形	2.54 × 1.20	2.05 × 0.71	42	外傾 直立	ピット状の凹み	人為	土師器	本跡→SK131
214	P9f8	N-34°-E	不整長方形	(2.00) × 1.25	1.80 × 0.70	65	直立	平坦	人為		本跡→SK213
218	P9e9	N-60°-E	長方形	2.72 × 1.24	2.33 × 0.70	57	緩斜 直立	ほぼ平坦	人為	土師器	
219	P9f6	N-75°-E	隅丸長方形	2.58 × 1.52	2.23 × 0.47	65	ほぼ直立 直立	平坦	人為		
221	P10h1	N-0°	長方形	2.31 × 1.24	2.03 × 0.85	60	外傾 ほぼ直立	平坦	自然	土師器	SI27:28→本跡
233	P10h5	N-32°-E	長楕円形	2.54 × 1.43	2.28 × 0.86	60	外傾	ほぼ平坦	人為	土師器、石器	
250	Q12j1	N-2°-W	長方形	2.42 × 1.52	1.83 × 0.52	52	外傾 ほぼ直立	平坦	人為	土師器	
252	Q13c1	N-83°-E	隅丸長方形	2.82 × 2.00	1.85 × 0.70	96	外傾 ほぼ直立	ほぼ平坦	人為	土師器、須恵器	
278	Q11b5	N-83°-W	不整長方形	2.46 × 1.28	1.95 × 0.74	64	外傾 直立	平坦	人為	土師器	
293	P13g3	N-32°-E	不整長方形	2.56 × 1.66	2.34 × 0.76	77	外傾 直立	ほぼ平坦	人為	土師器	
294	P13h4	N-7°-E	長方形	2.50 × 1.16	2.08 × 0.77	58	外傾 直立	長軸に溝1条	人為	土師器	
301	Q12a9	N-80°-E	隅丸長方形	1.83 × 1.01	1.53 × 0.51	54	外傾 ほぼ直立	ほぼ平坦	人為	土師器	
303	Q12d9	N-74°-E	隅丸長方形	1.30 × 0.92	0.98 × 0.38	36	外傾 直立	平坦	人為		
305	P13j2	N-83°-E	長方形	2.64 × 1.39	2.00 × 0.70	75	外傾 緩斜	ピット4か所	人為		
347	Q11d4	N-66°-E	不整長方形	2.60 × 1.48	2.15 × 0.90	65	直立	平坦	人為	土師器	
370	R12c4	N-9°-E	長方形	2.86 × 1.38	2.31 × 0.82	58	外傾 直立	ほぼ平坦	人為	土師器、石器	SI41→本跡
375	Q12j3	N-88°-E	不整長方形	2.68 × 2.03	2.25 × 0.71	65	直立 外傾	平坦	人為	土師器、須恵器	
383	Q11f5	N-73°-E	隅丸長方形	2.13 × 1.22	1.53 × 0.65	58	外傾 直立	平坦	人為	土師器	
392	Q11c2	N-65°-E	隅丸長方形	2.44 × 1.18	2.05 × 0.80	66	外傾 ほぼ直立	凹凸	人為	土師器	
403	Q12d3	N-77°-E	[楕円形]	(1.60) × 1.18	(1.36) × 0.37	67	外傾 ほぼ直立	平坦	人為		SK402→本跡
405	Q12f5	N-16°-E	長方形	2.35 × 1.34	2.05 × 0.70	54	外傾 ほぼ直立	短軸に溝2条	人為		
406	Q12f4	N-84°-W	長楕円形	1.88 × 0.96	1.35 × 0.50	52	外傾 ほぼ直立	長軸に溝1条	人為	土師器	
413	Q11f8	N-30°-E	隅丸長方形	2.20 × 1.14	2.05 × 0.70	64	外傾 直立	溝1条 ピット2基	-	土師器、須恵器	
417	Q12b5	N-80°-E	不整長方形	2.12 × 1.23	1.73 × 0.61	67	外傾 直立	平坦	人為	土師器	
456	O11h8	N-18°-E	長方形	2.93 × 1.53	2.35 × 0.91	74	直立	短軸に溝1条 ピット2基	人為	土師器	
462	Q12a5	N-28°-E	[楕円形]	2.12 × (0.92)	1.90 × (0.53)	46	外傾	長軸に溝1条	人為	土師器	

(3) 長方形土坑

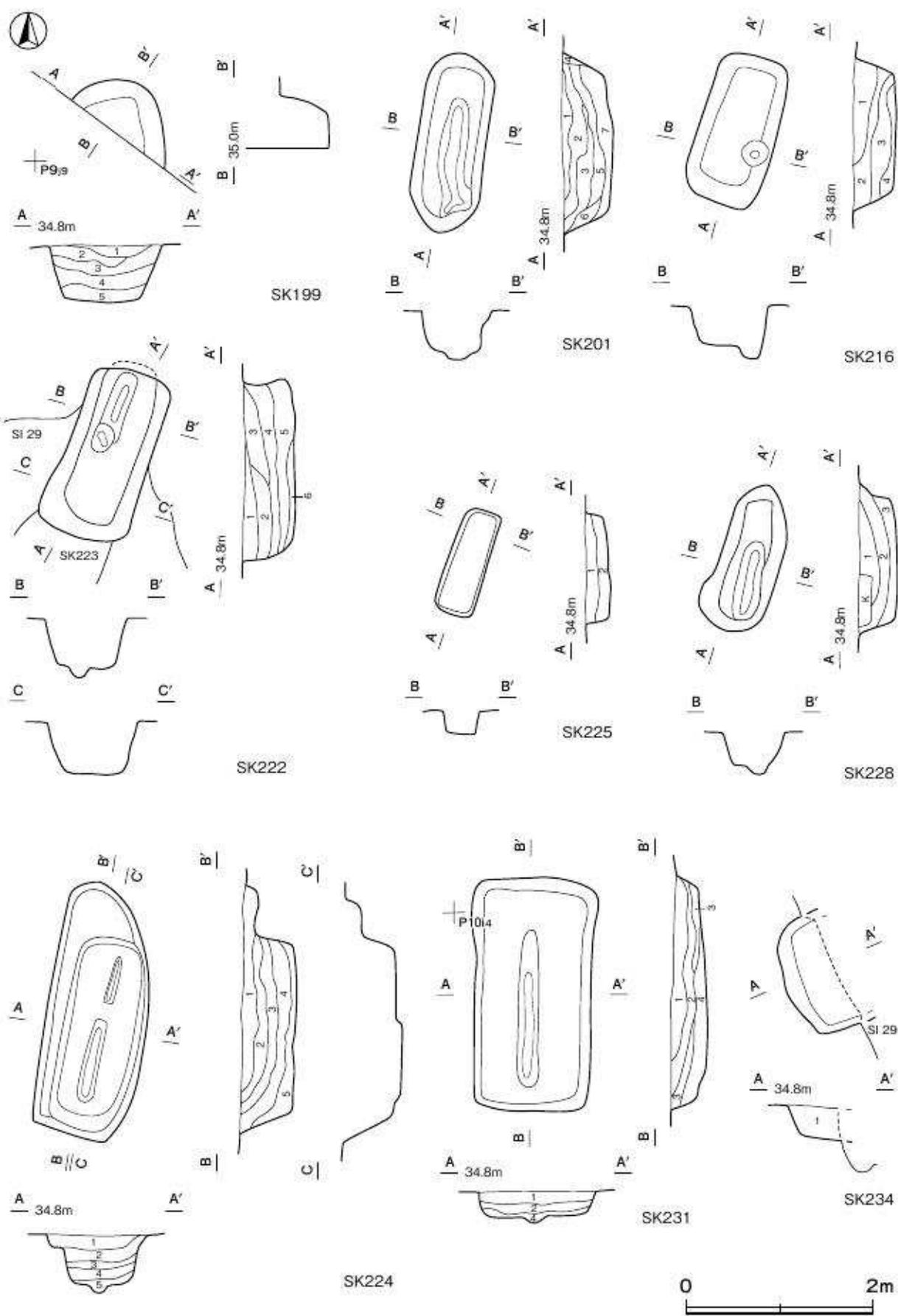
今回の調査で、時期や性格が不明な長方形土坑84基を確認した。以下、実測図(第160～169図)及び一覧表を掲載する。



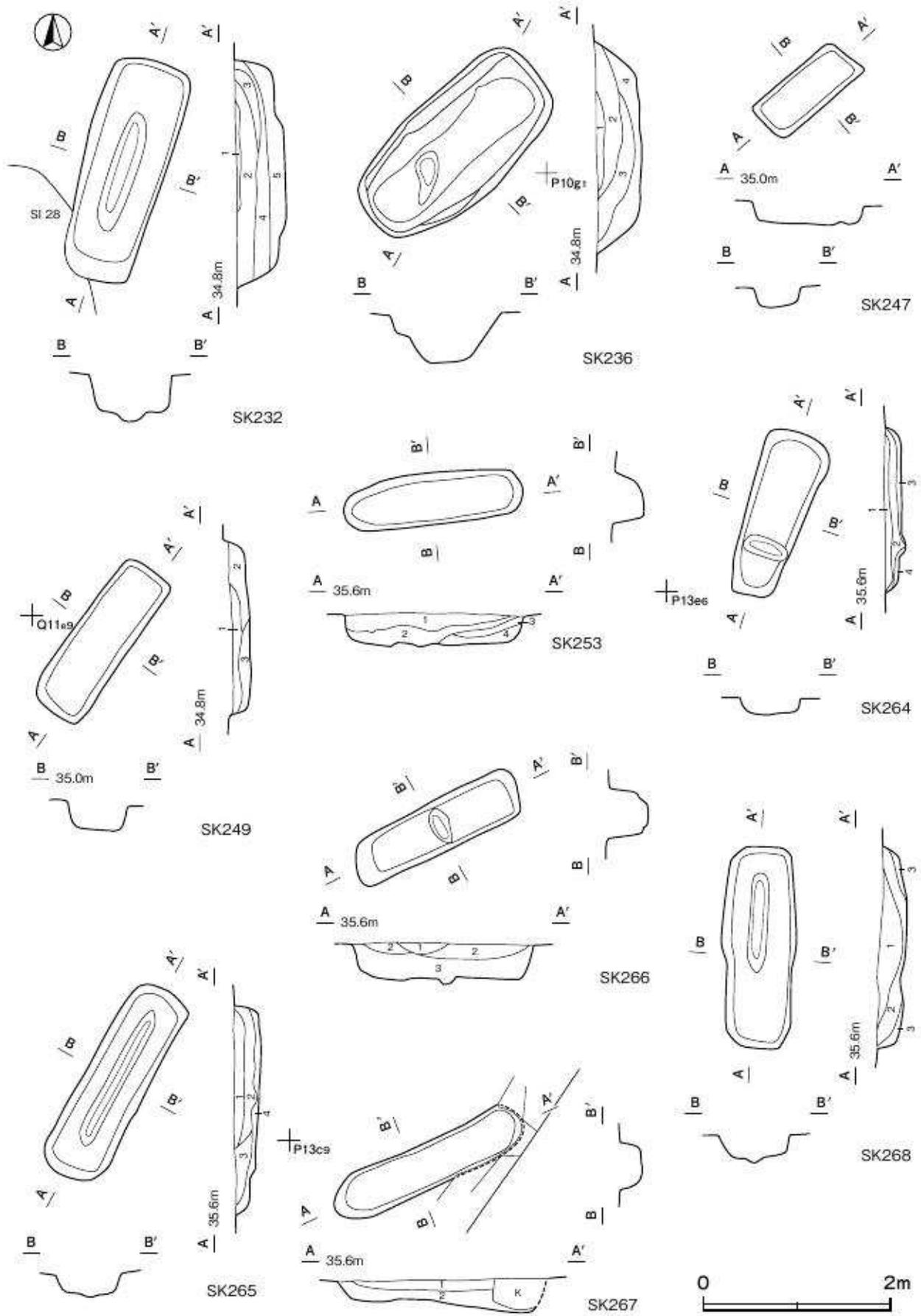
第 160 図 長方形土坑実測図(1)



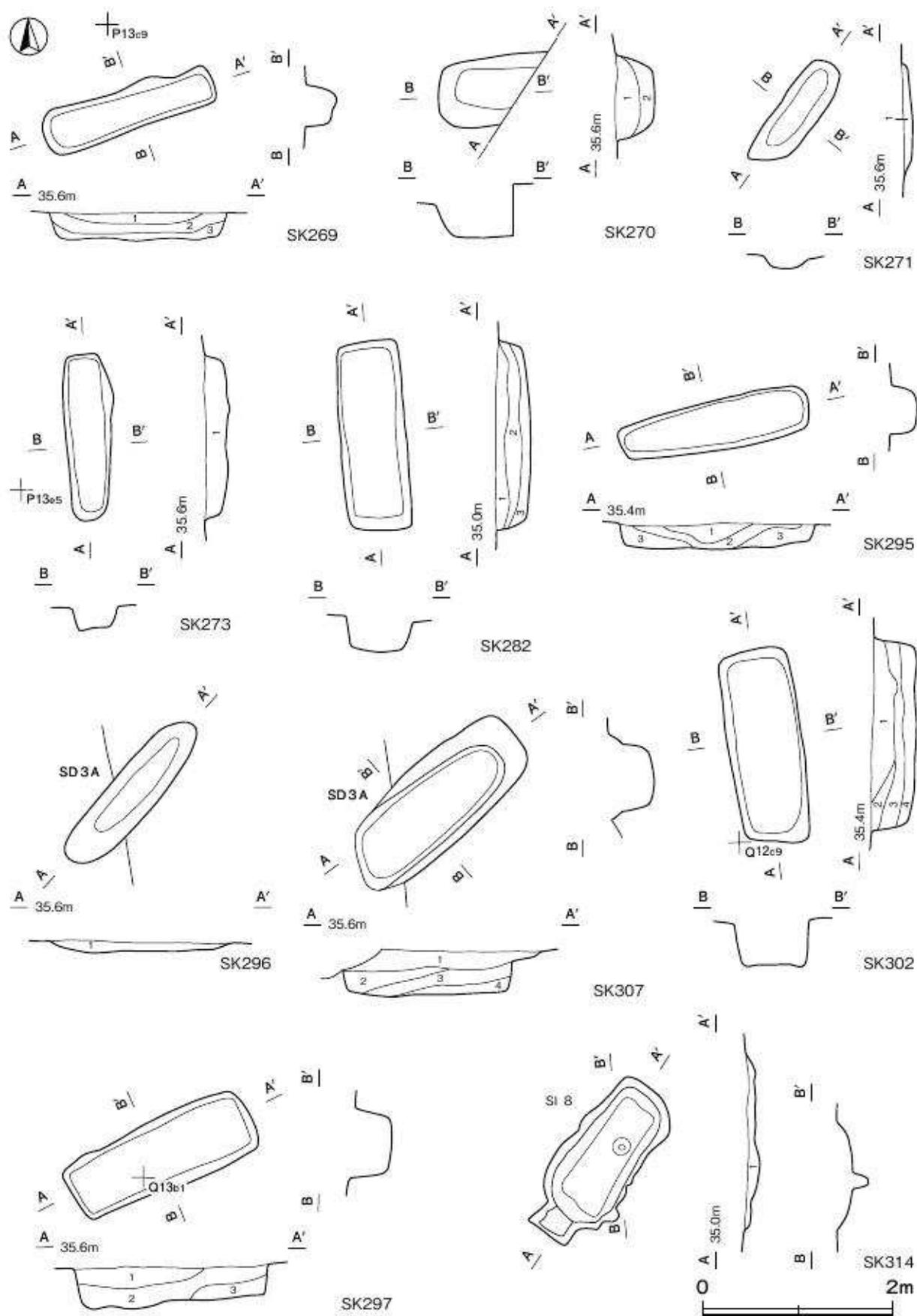
第 161 図 長方形土坑実測図(2)



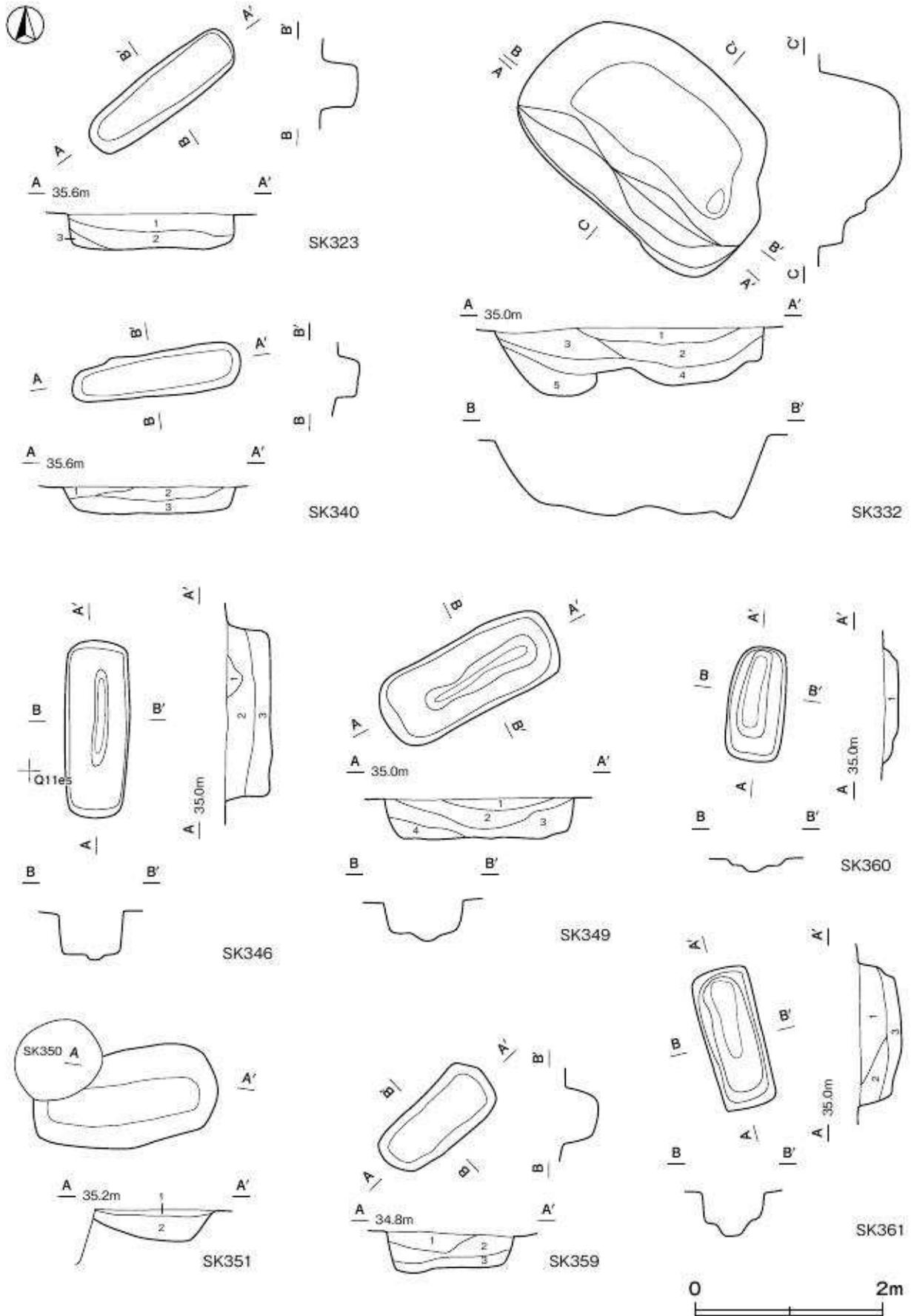
第 162 图 长方形土坑实测图(3)



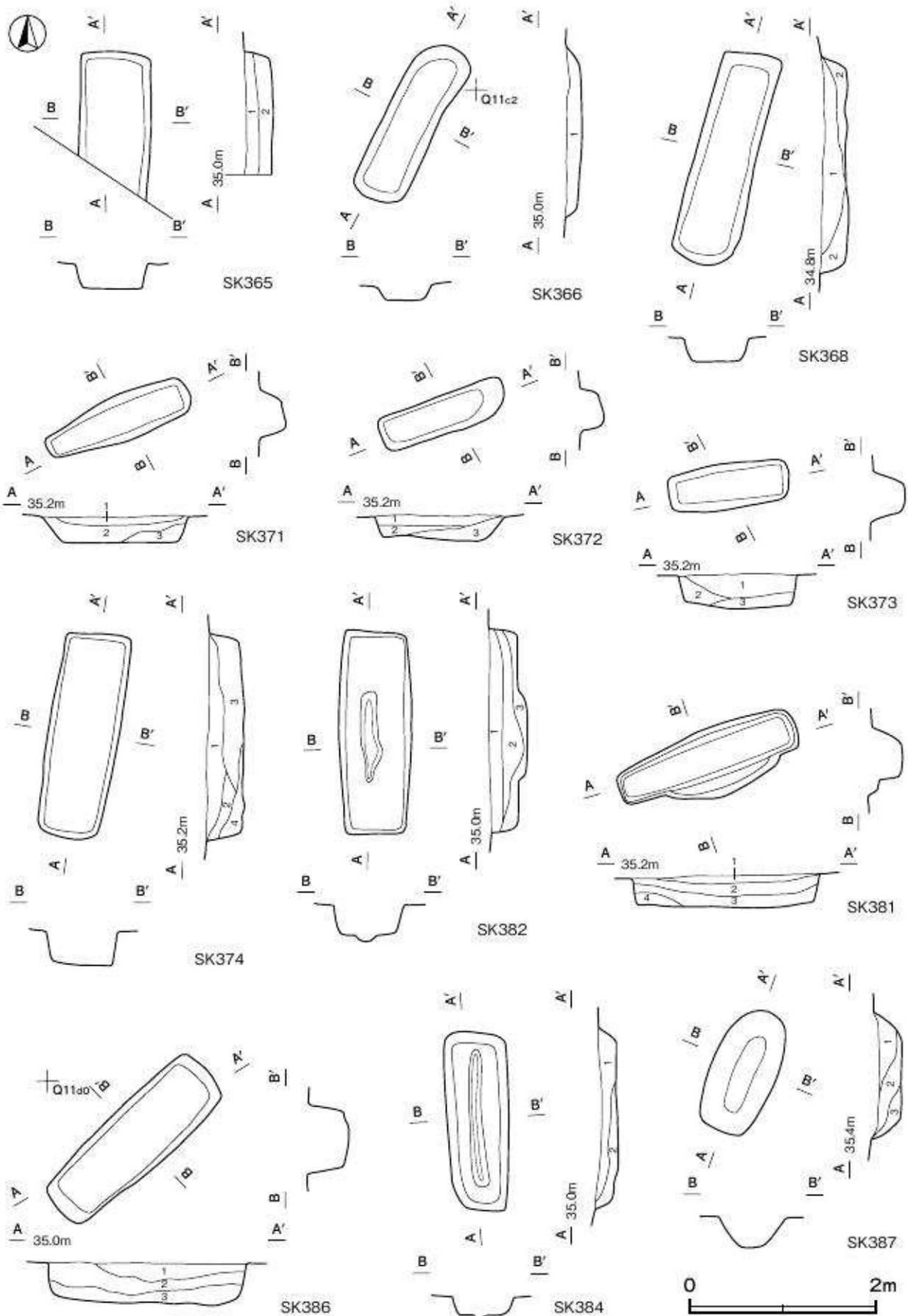
第 163 図 長方形土坑実測図(4)



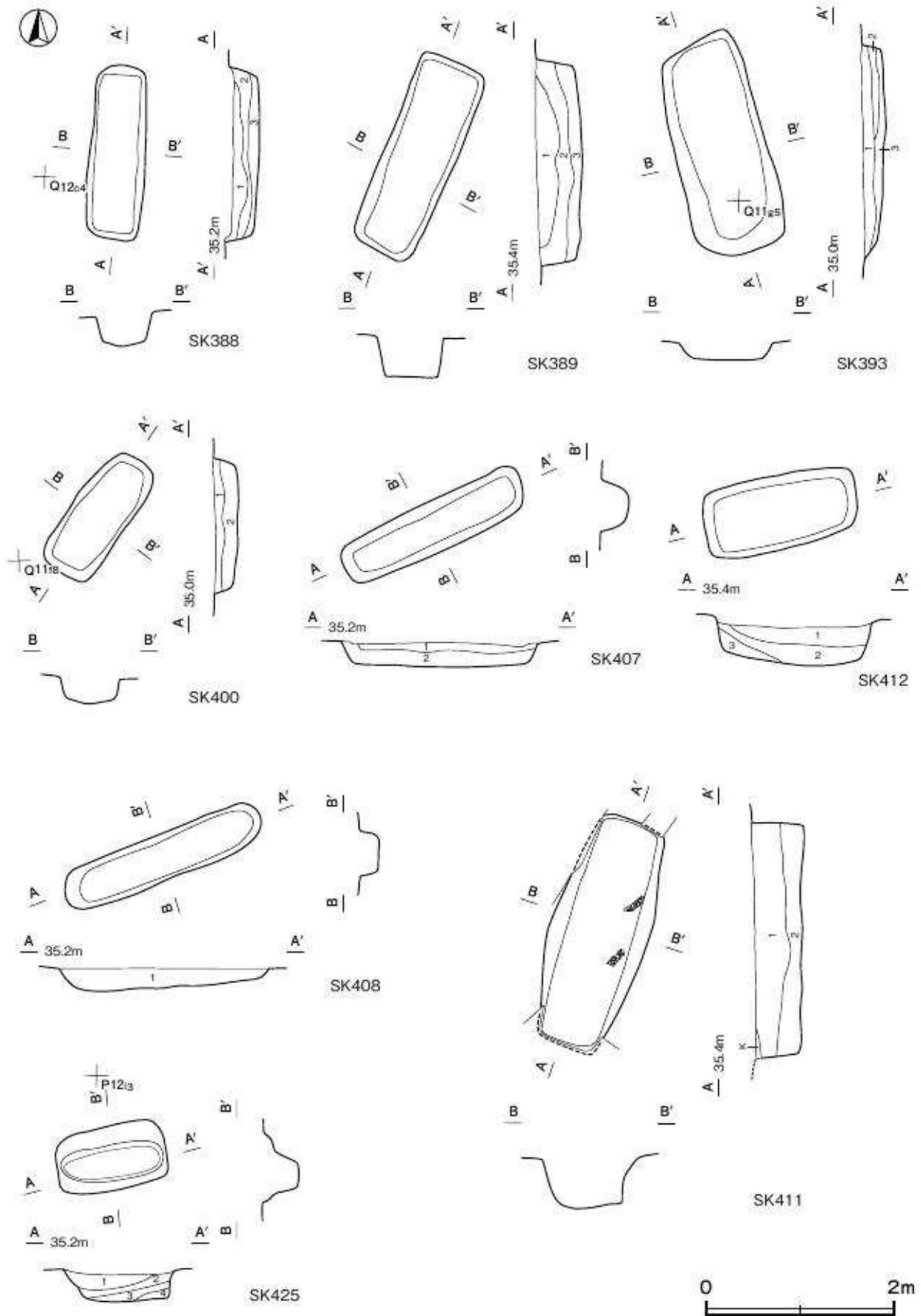
第 164 图 长方形土坑实测图(5)



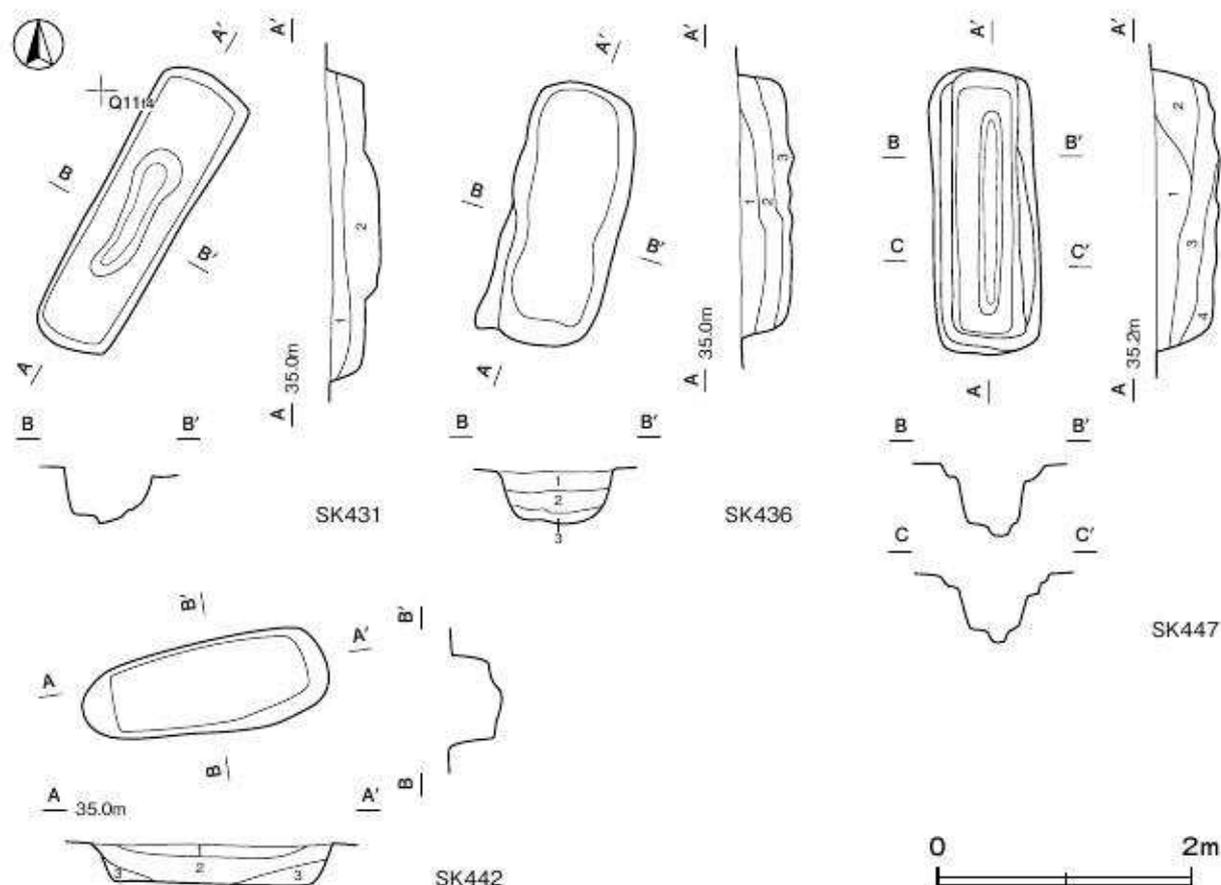
第 165 図 長方形土坑実測図(6)



第 166 图 长方形土坑实测图(7)



第 167 図 長方形土坑実測図(8)



第168図 長方形土坑実測図(9)

第2号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

第4号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量

第6号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量

第41号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 5 暗褐色 ローム粒子多量

第53号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第60号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第65号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第68号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第69号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量

第116号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

第132号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子微量

第136号土坑 土層解説

- 1 暗褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

**第 155 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 黒褐色 ローム粒子多量
- 6 黒褐色 ロームブロック中量
- 7 褐色 ロームブロック中量
- 8 褐色 ローム粒子多量

**第 170 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 炭化粒子中量、ローム粒子少量
- 2 極暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量
- 4 極暗褐色 ロームブロック少量
- 5 黒褐色 ロームブロック、炭化粒子少量

**第 190 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、炭化物少量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量
- 6 黒褐色 ロームブロック微量

**第 191 号土坑 土層解説**

- 1 灰褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子少量
- 5 褐色 ローム粒子微量

**第 193 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

**第 195 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量

**第 197 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量

**第 198 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ローム粒子多量
- 7 暗褐色 ローム粒子中量

**第 199 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量

**第 201 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化物少量
- 2 黒褐色 ロームブロック、炭化粒子中量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子中量
- 4 極暗褐色 ローム粒子多量、炭化物中量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量
- 6 暗褐色 ロームブロック多量、炭化粒子少量
- 7 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子中量

**第 216 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量

**第 222 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量
- 6 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量

**第 224 号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック、炭化粒子少量
- 4 灰褐色 ロームブロック、炭化粒子少量
- 5 灰褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

**第 225 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

**第 228 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック、炭化粒子少量
- 3 極暗褐色 ローム粒子中量

**第 231 号土坑土層解説**

- 1 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック、炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 灰褐色 ローム粒子少量

**第 232 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 炭化物多量、ローム粒子・焼土粒子少量
- 2 極暗褐色 炭化粒子中量、ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック、焼土粒子・炭化粒子少量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量

**第 234 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック、炭化粒子少量、焼土ブロック微量

**第 236 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 炭化材中量、ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

**第 249 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック、炭化物少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化物・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック、炭化物少量

**第 253 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ローム粒子中量

**第 264 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ローム粒子中量

**第 265 号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 炭化物中量、ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量

**第 266 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

**第 267 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

**第 268 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

**第 269 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

**第 270 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

**第 271 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量

**第 273 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 炭化材中量, ローム粒子少量

**第 282 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

**第 295 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

**第 296 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量

**第 297 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 2 黒褐色 炭化物少量, ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

**第 302 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

**第 307 号土坑 土層解説**

- 1 明褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 明褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 3 明褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

**第 314 号土坑 土層解説**

- 1 明褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

**第 323 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

**第 332 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 4 黒褐色 炭化粒子中量, ローム粒子少量
- 5 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量

**第 340 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 2 黒褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

**第 346 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

**第 349 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック, 炭化物少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量

**第 351 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

**第 359 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量

**第 360 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量

**第 361 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

**第 365 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

**第 366 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量

**第 368 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

**第 371 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量

**第 372 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

**第 373 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量

**第 374 号土坑 土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 4 黒褐色 炭化粒子中量, ロームブロック少量

**第 381 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 炭化物中量, ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

**第 382 号土坑 土層解説**

- 1 黒褐色 炭化粒子中量, ローム粒子少量
- 2 暗褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量

第 384 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子中量, ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第 386 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 3 黒褐色 炭化粒子中量, ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第 387 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子中量, ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 炭化粒子中量, ローム粒子少量

第 388 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物中量
- 3 黒褐色 炭化粒子中量, ローム粒子少量

第 389 号土坑 土層解説

- 1 極暗褐色 炭化材・ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化材少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第 393 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第 400 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化物少量

第 407 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量

第 408 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量

第 411 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化材少量, 焼土粒子微量

第 412 号土坑 土層解説

- 1 黒褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 2 黒褐色 炭化材・ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第 425 号土坑 土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子多量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第 431 号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

第 436 号土坑 土層解説

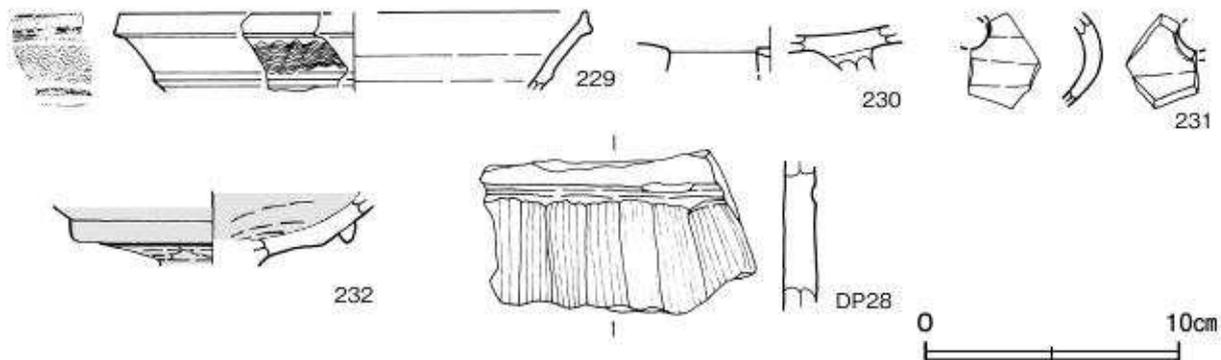
- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第 442 号土坑 土層解説

- 1 極暗褐色 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量

第 447 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 2 暗褐色 炭化物・ローム粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量



第 169 図 長方形土坑出土遺物実測図

長方形土坑出土遺物観察表 (第 169 図)

遺構	番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
SK170	229	須恵器	甕	[18.4]	(31)	-	長石・黒色粒子・細礫	灰白	普通	外面区画沈線文 波状文	覆土中	5%
SK222	230	須恵器	高杯	-	(17)	-	長石	灰	良好	内面仕上げナデ 脚部4単位の方形透かし孔	覆土中	5%
SK222	231	須恵器	甕	-	(38)	-	長石・石英・黒色粒子	灰	良好	外・内面ロクロナデ	覆土中	5%
SK232	232	土師器	高杯	-	(29)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	外面横位のヘラナデ 内面ヘラナデ	覆土中	5%

遺構	番号	器種	高さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
SK224	DP28	着輪	(6.5)	(11.0)	L3	(124.1)	長石・石英・細礫	にぶい黄橙	上部横位の沈線 縦位の櫛目文 装飾着輪	覆土中	PL37

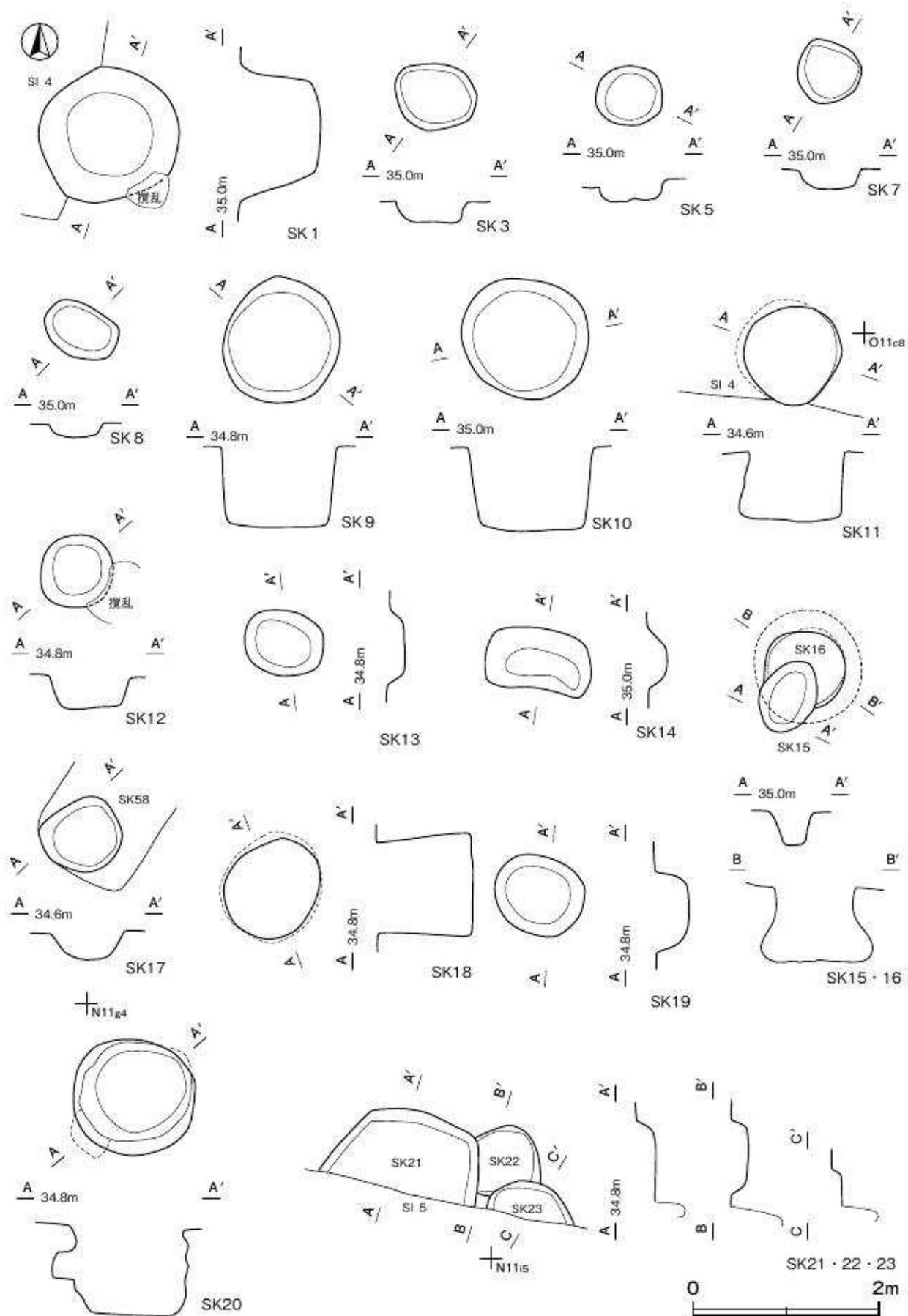
表6 長方形土坑一覽表

番号	位置	長径方向	平面形	規 模			壁 面 上段 下段	底 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				確認面 長径×短径 (m)	下段 長径×短径 (m)	深さ (cm)					
2	O11a8	N-67°-W	隅丸長方形	-	1.12 × 0.58	18	ほぼ直立	平垣	人為		
4	O11a8	N-70°-E	長方形	-	1.32 × 0.72	36	緩斜	凹凸	人為	土師器	
6	O11a7	N-43°-E	長方形	-	2.36 × 0.88	42	外傾	平垣	人為	土師器	
41	O11c6	N-29°-E	長方形	[2.57 × 0.97]	2.40 × 0.73	77	直立	平垣	人為		SI 7 → 本跡
53	O10h2	N-5°-E	隅丸長方形	-	1.55 × 0.70	18	緩斜	平垣	自然	土師器	
60	O99	N-3°-E	隅丸長方形	-	1.60 × 0.65	10	緩斜	平垣	自然	土師器	
65	O90	N-6°-E	隅丸長方形	-	1.67 × 0.68	21	ほぼ直立	平垣	人為		
68	O90	N-37°-W	[隅丸長方形]	(0.65) × 1.30	(0.47) × 0.58	44	外傾	有段	人為		
69	P9e0	N-11°-E	長方形	-	2.06 × 0.74	29	ほぼ直立	長軸に溝1条	人為	土師器	
116	P10d0	N-9°-E	長方形	-	1.74 × 0.62	46	ほぼ直立	長軸に溝1条	人為		SK110・SD 3A → 本跡
132	P11a4	N-20°-E	隅丸長方形	-	[1.54 × 0.56]	51	直立	長軸に溝1条	自然	須恵器	
136	P9e7	N-26°-E	[隅丸長方形]	-	(1.06) × 0.70	41	ほぼ直立	平垣	人為	土師器	本跡 → SD 3B
155	P10g9	N-17°-E	長方形	-	2.35 × 1.03	36	ほぼ直立	平垣	人為	土師器	SI25 → 本跡
170	Q10b6	N-7°-W	長方形	-	2.17 × 0.78	30	ほぼ直立	平垣	人為	須恵器	
190	Q10a5	N-3°-E	隅丸長方形	-	1.49 × 0.63	40	直立	平垣	人為	土師器	
191	Q10c4	N-6°-W	長方形	-	2.85 × 1.70	23	緩斜	長軸に溝1条	人為	土師器	
193	Q10b3	N-10°-E	長方形	-	1.05 × 0.47	36	直立	平垣	自然		
195	Q10a2	N-13°-W	長方形	-	1.26 × 0.50	22	緩斜	ほぼ平垣	自然		
197	P10j1	N-22°-W	隅丸長方形	-	2.56 × 1.88	20	緩斜	平垣	自然		
198	P99	N-65°-W	長方形	-	1.53 × 1.00	60	外傾	皿状	人為	土師器	
199	P99	-	-	-	(1.05 × 0.70)	58	外傾	平垣	人為	土師器	
201	P9a9	N-10°-E	隅丸長方形	-	1.94 × 0.72	54	外傾	長軸に溝1条	人為	土師器	
216	P9e8	N-17°-E	長方形	-	1.62 × 0.84	45	外傾	平垣 ピット1	人為	土師器	
222	P106	N-22°-E	隅丸長方形	-	1.86 × 0.98	64	外傾	平垣	人為	須恵器	SI29・SK223 → 本跡
224	P9g8	N-9°-E	不整長方形	2.68 × 1.10	1.94 × 0.84	58	外傾	長軸に溝2条	人為	土師器、須恵器、須輪	
225	P104	N-19°-E	長方形	-	1.18 × 0.43	26	直立	平垣	自然	土師器	
228	P10e1	N-18°-E	楕円形	-	1.64 × 0.65	47	ほぼ直立	皿状	人為	土師器	
231	P104	N-2°-E	長方形	-	2.52 × 1.26	26	外傾	長軸に溝1条	自然	土師器	
232	P10h2	N-19°-E	長方形	-	2.45 × 0.92	52	直立	長軸に溝1条	人為	土師器	SI28 → 本跡
234	Q10a4	-	(不整長方形)	-	1.29 × (0.56)	32	外傾	平垣	人為		SI29と 新旧不明
236	P90	N-48°-E	隅丸長方形	2.38 × 1.16	2.38 × 0.79	48	緩斜	平垣	人為	土師器	
247	Q11g5	N-49°-E	長方形	-	1.15 × 0.50	23	外傾	平垣	-	土師器	
249	Q11e9	N-36°-E	長方形	-	1.86 × 0.61	29	ほぼ直立	平垣	人為	土師器	
253	P13f4	N-82°-E	楕円形	-	1.92 × 0.54	36	緩斜	皿状	人為	土師器	
264	P13d6	N-17°-E	長方形	-	1.83 × 0.68	18	緩斜	短軸に溝1条	自然	土師器	
265	P13d7	N-27°-E	隅丸長方形	-	2.27 × 0.67	25	緩斜	長軸に溝1条	自然	土師器	
266	P13e8	N-68°-E	隅丸長方形	-	1.94 × 0.56	41	ほぼ直立	短軸に溝1条	自然	須恵器	
267	P13e9	N-64°-E	長楕円形	-	2.13 × 0.52	23	ほぼ直立	平垣	自然		
268	P13e6	N-3°-E	隅丸長方形	-	2.17 × 0.82	30	外傾	長軸に溝1条	自然	土師器	
269	P13e9	N-72°-E	不整長方形	-	1.87 × 0.51	31	ほぼ直立	凹凸	自然		
270	P137	N-87°-E	隅丸長方形	-	(0.87) × 0.70	40	緩斜	平垣	自然	土師器	
271	P136	N-35°-E	隅丸長方形	-	1.26 × 0.44	10	緩斜	平垣	自然		
273	P13d5	N-2°-W	隅丸長方形	-	1.76 × 0.54	26	緩斜	平垣	不明	土師器	
282	Q11b4	N-2°-E	長方形	-	1.98 × 0.70	34	外傾	平垣			

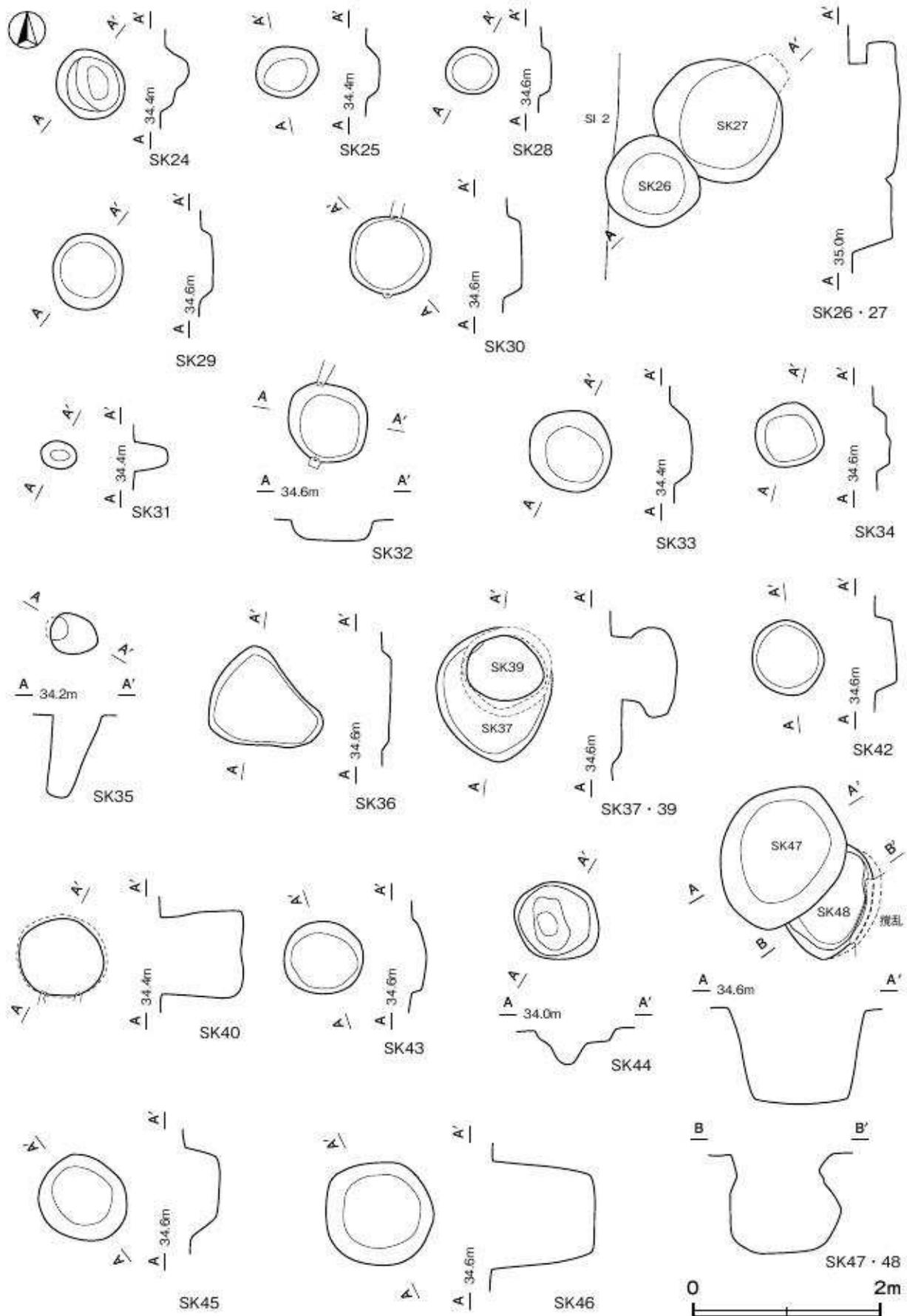
番号	位置	長径方向	平面形	規模			壁面 上段 下段	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				確認面 長径×短径 (m)	下段 長径×短径 (m)	深さ (cm)					
295	Q13a2	N-79°-E	隅丸長方形	-	200 × 054	26	外傾	平坦	人為		
296	P12b	N-42°-E	楕円形	-	189 × 049	11	縦斜	平坦	-		SD 3A →本跡
297	Q13a1	N-65°-E	長方形	-	202 × 074	40	外傾	平坦	人為	土師器	
302	Q12b9	N-8°-W	長方形	-	206 × 078	45	直立	平坦	自然		
307	P12j	N-50°-E	長方形	-	(214) × 088	50	ほぼ直立	ほぼ平坦	人為	土師器、土師質土器	本跡 →SD 3A
314	O11d9	N-33°-E	不整形長方形	-	185 × 075	14	縦斜	凹凸	人為		SI 8→本跡
323	O12g9	N-53°-E	隅丸長方形	-	182 × 055	38	直立	平坦	自然	土師器	
332	Q11h2	N-51°-W	不整形長方形	-	283 × 190	85	縦斜	やや凹凸	人為		
340	O12f9	N-79°-E	隅丸長方形	-	182 × 048	22	外傾	平坦	人為	土師器	
346	Q11d5	N-0°	長方形	-	190 × 070	49	直立	長軸に 溝1条	人為	土師器	
349	Q11e1	N-63°-E	長方形	-	201 × 083	38	ほぼ直立	長軸に 溝1条	人為	土師器	
351	O12h1	N-5°-W	隅丸長方形	-	196 × 102	33	外傾	平坦	自然	土師器	本跡→SK350
359	Q11e4	N-48°-E	隅丸長方形	-	139 × 064	38	ほぼ直立	平坦	自然	土師器	
360	Q11d3	N-3°-E	隅丸長方形	-	122 × 062	12	縦斜	長軸に 溝1条	不明	土師器	
361	Q11d3	N-15°-W	隅丸長方形	-	152 × 062	48	外傾	凹凸	人為		
365	Q10d9	N-10°-E	[長方形]	-	(156) × 076	28	外傾	平坦	自然		
366	Q11c1	N-28°-E	隅丸長方形	-	185 × 058	15	縦斜	ほぼ平坦	-		
368	Q11e2	N-13°-E	長方形	-	233 × 069	24	外傾	やや凹凸	自然		
371	R12d2	N-67°-E	長方形	-	163 × 051	28	外傾	平坦	自然		
372	R12e1	N-70°-E	隅丸長方形	-	140 × 041	24	外傾	ほぼ平坦	人為		
373	R12e1	N-88°-E	長方形	-	130 × 050	34	縦斜	平坦	自然		
374	R11e0	N-8°-E	長方形	-	223 × 076	37	直立	平坦	-		
381	R12d1	N-68°-E	不整形長方形	-	200 × 073	34	ほぼ直立	平坦	自然		
382	R11b0	N-0°	長方形	-	218 × 079	30	直立	長軸に 溝1条	人為	土師器	
384	Q11f9	N-2°-W	長方形	-	192 × 068	20	外傾	長軸に 溝1条	人為		
386	Q11d0	N-45°-E	長方形	-	217 × 072	42	ほぼ直立	平坦	人為	土師器	
387	Q12a6	N-22°-E	楕円形	-	138 × 070	32	外傾	平坦	人為		
388	Q12d4	N-2°-E	長方形	-	188 × 062	34	ほぼ直立	平坦	人為		
389	Q12g9	N-24°-E	長方形	-	218 × 076	42	ほぼ直立	平坦	人為		
393	Q11f4	N-15°-W	長方形	-	228 × 100	22	外傾	平坦	人為	土師器、須恵器	
400	Q11e8	N-34°-E	長方形	-	147 × 061	28	ほぼ直立	平坦	人為	土師器	
407	Q12g3	N-65°-E	長方形	-	208 × 055	25	外傾	平坦	人為	土師器	
408	Q12a6	N-70°-E	隅丸長方形	-	224 × 052	18	外傾	平坦	不明		
411	P12g6	N-18°-E	隅丸長方形	-	(252) × 104	52	外傾	平坦	人為	土師器	
412	O12d7	N-77°-E	長方形	-	162 × 078	46	直立	平坦	人為	土師器	
425	P123	N-80°-E	隅丸長方形	1.18 × 0.78	1.09 × 0.37	38	外傾	平坦	人為	土師器	
431	Q11f4	N-30°-E	長方形	-	246 × 075	37	ほぼ直立	長軸に 溝1条	人為	土師器	
436	Q11b2	N-11°-E	隅丸長方形	-	211 × 088	42	ほぼ直立	やや凹凸			
442	Q11e3	N-78°-E	隅丸長方形	-	196 × 075	40	直立	平坦	人為		
447	R12e3	N-0°	長方形	225 × 0.84	208 × 100	50	直立	長軸に 溝1条	人為	土師器	

#### (4) 土坑

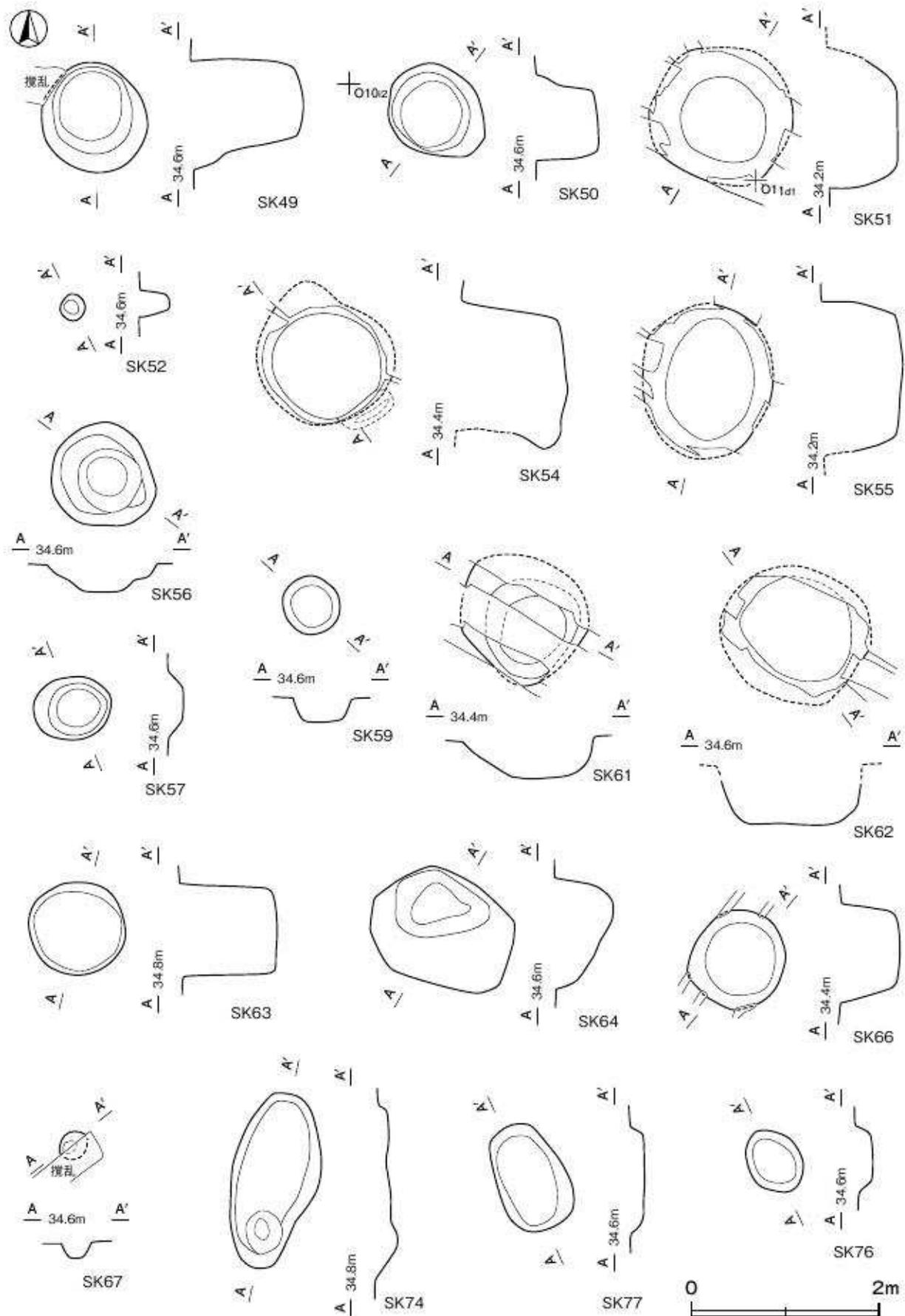
今回の調査で、時期や性格が不明な土坑 332 基を確認した。以下、実測図（第 170～186 図）及び一覧表を掲載する。



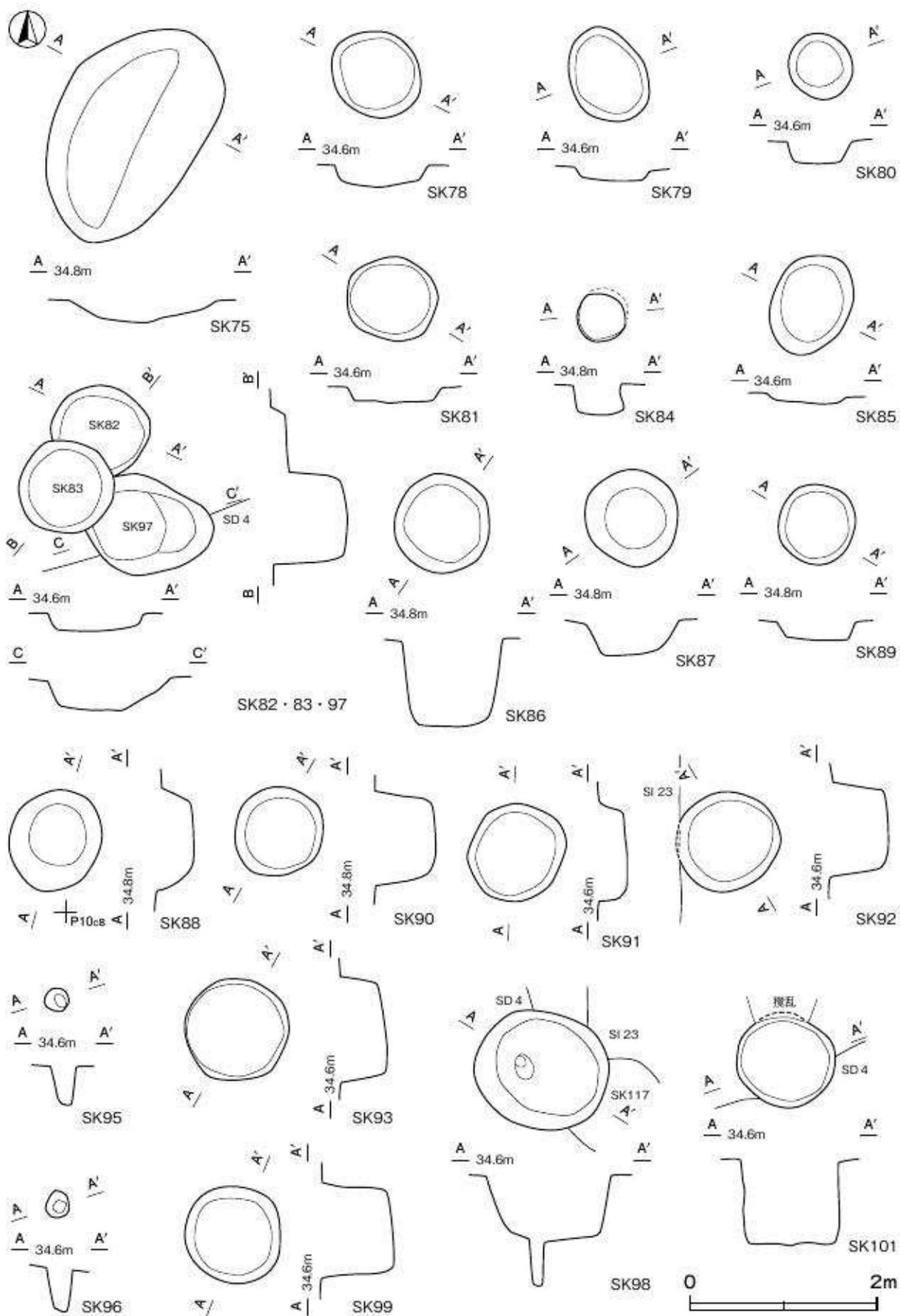
第 170 図 その他の土坑実測図(1)



第 171 図 その他の土坑実測図(2)



第 172 図 その他の土坑実測図(3)



第 173 図 その他の土坑実測図(4)